

平成24年度 第2回放課後子どもプラン運営委員会

日 時：平成24年10月17日（水）

14時～16時

場 所：市役所北館4階 教育委員会室

1 開会

2 議題

校庭開放一旦下校解消に向けての取組み経過について

- ・保護者アンケート結果報告
- ・各小学校の対応状況
- ・校庭開放安全管理人の研修会及び説明会の報告

3 第3回運営委員会開催の日程について

4 閉会

平成24年度芦屋市放課後子どもプラン運営委員会 名簿

(区分毎の五十音順)

区分	団体名	氏名
学校関係者	芦屋市立山手小学校校長	ヤマモト テツヤ 山本 哲也
地域関係者	芦屋市自治会連合会	ナカガミ シロウ 中上 二郎
地域関係者	芦屋市老人クラブ連合会	ナカムラ ミツヨ 中村 美津子
副議長	社会教育関係者 芦屋市青少年育成愛護委員会	オオツカ ケイコ 大塚 圭子
議長	社会教育関係者 芦屋市子ども会連絡協議会	モリカミ ミナ子 守上 三奈子
社会教育関係者	芦屋市PTA協議会	ヨシモト シゲミ 吉本 成美
社会教育関係者	芦屋市コムスク連絡協議会	ササキ ケイコ 若林 敬子
児童福祉関係者	芦屋市社会福祉協議会	ハンダ タカヨ 半田 孝代
行政関係者	芦屋市教育委員会社会教育部 スポーツ・青少年課長	キダカ マル 木高 守
行政関係者	芦屋市教育委員会学校教育部 学校教育課長	キタノ 肇 北野 肇
行政関係者	芦屋市保健福祉部 こども課長	ナカムラ ヒサヨ 中村 尚代

平成24年10月17日

校庭開放一旦下校解消に向けての取組み経過報告

<取組み経過>

- ① 6月下旬に放課後子どもプランに係るアンケートの集計完了。
→アンケートの結果は別紙1のとおり。
- ② 7月13日に各小学校長，学校教育課，生涯学習課で，帰らずに実施するかどうかについて話し合いの場を持つ。（事業の課題やアンケート結果などをふまえて協議）
→帰らずに実施するかどうかは，各小学校ごとに個別対応となる。
- ③ 7月13日の結果を受けて，8月にかけて今後の対応について各小学校と協議を行う。
→各小学校の対応は別紙2のとおり。
→岩園小学校と朝日ヶ丘小学校については，帰らずに実施する方向となり，各課題については引き続き協議を重ねる。現時点の各課題に対する対策については別紙3のとおり
- ④ 7月中旬には安全管理人を確保するために，芦屋大学及び甲南女子大学へ学生のボランティア募集の依頼を行う。
- ⑤ 9月20日に安全管理人を対象に，市立芦屋病院の小児科医長を迎えて子どものケガ等の対応について学ぶ研修会と安全管理人の業務及び新たな取組みについての説明会を行う。
→研修会及び説明会の内容は，別紙4のとおり
（主な内容）
 - ・ケガの対応について，本来は安全管理人の業務であることを再認識してもらう。
 - ・緊急時の連絡体制強化を図る目的で校庭開放専用の携帯電話を配布することを説明。
 - ・校庭開放終了後の下校について，途中まで付き添うことや事故等の場合の病院への付き添い（生涯学習課が病院へ向かうまでの間の付き添い）など新たな取組みもお願いしたが，理解を得ることはできなかった。

⑥10月2日に開催された朝日ヶ丘小学校PTA運営委員会へ出向き、帰らずに実施する方向であることやその取組み案について説明し、意見交換を行う。
また、学校長に安全管理人説明会での結果を報告。

⑦10月3日に岩園小学校PTA地域部と民生児童委員や地域の見守り団体が集まる会議へ出席。校庭開放事業の現在の状況と、帰らずに実施しようと取り組んでいる事を説明。また、下校面について、通常の下校時のような見守りはないことから、必要があれば保護者が迎えに来るなどの対応をとって欲しいことをあらためて周知する。

⑧10月15日に岩園小学校へ行き、安全管理人説明会での結果を報告。

<今後の予定>

- ・岩園小学校のPTA運営委員会へ出向き、取組み案を説明し、意見交換を行う。
(11月予定)
- ・岩園及び朝日ヶ丘小学校長から教職員の方々へ取組み案を説明してもらい、意見をもらう。(職員会議等で)
- ・安全管理人の確保に取り組む。
- ・取組み内容や体制が確定すれば、①PTA運営委員会等で説明②教職員の方々へ説明(学校長に依頼)③安全管理人への運用面での詳細な説明を行い、平成25年度には開始できるように取り組む。

以上

校庭開放(放課後こどもプラン事業)に関するアンケート H24.6月実施(岩園小のみ平成23.10実施)

各小学校 回収率	精道	宮川	山手	朝日	潮見	打出	浜風	岩園	合計
●児童数	699	697	669	468	581	589	346	706	4,755
●回収枚数	517	464	399	296	263	446	237	305	2,927
●回収率	74%	67%	60%	63%	45%	76%	68%	43%	62%

問3 お子様は、放課後に校庭開放を利用したことがありますか。

	精道	宮川	山手	朝日	潮見	打出	浜風	岩園	合計
1. 毎回利用している	25	31	10	4	1	3	18		92
2. 週に1回程度	54	105	38	24	8	29	63		321
3. 月に1~3回程度	64	118	37	36	19	58	39		371
4. あまり利用していない	196	125	103	97	82	160	77		840
5. 全く利用しない	178	85	211	135	153	196	40		998
	精道	宮川	山手	朝日	潮見	打出	浜風		

問4 校庭開放を利用しない理由 ※複数回答可

	精道	宮川	山手	朝日	潮見	打出	浜風	岩園	合計
1. 塾や習い事などに行っている	242	150	150	122	110	181	89	225	1,269
2. 公園などで遊んでいる	225	121	83	120	143	236	98	228	1,254
3. 下校した後また学校に行かせようとは思わない	84	32	224	91	67	85	11	133	727
4. 校庭開放に参加させるつもりがない	5	2	2	9	3	7	7	83	118
5. その他：家が遠いから・学童保育	19	15	16	12	5	14	12	41	134
	精道	宮川	山手	朝日	潮見	打出	浜風	岩園	

問5 一旦下校せず学校に残って参加できるようにすることを、望みますか。

	精道	宮川	山手	朝日	潮見	打出	浜風	岩園	合計
1. 望む	273	155	336	207	116	237	58	246	1,628
2. 望まない	170	249	26	48	106	150	142	35	926
無回答	74	60	37	41	34	59	37	5	347
合計	517	464	399	296	256	446	237	286	2,901
	精道	宮川	山手	朝日	潮見	打出	浜風	岩園	全体
「望む」と回答した割合	53%	33%	84%	70%	46%	53%	24%	86%	56%

問6 一旦下校せずに参加できるようになれば、校庭開放に参加しますか。

	精道	宮川	山手	朝日	潮見	打出	浜風	岩園	合計
1. 参加する	315	228	324	204	131	266	93	243	1,804
2. 参加しない	87	126	27	36	83	82	61	33	535
無回答	115	110	48	56	49	101	83	28	590
合計	517	464	399	296	263	449	237	304	2,929
	精道	宮川	山手	朝日	潮見	打出	浜風	岩園	全体
「参加する」と回答した割合	61%	49%	81%	69%	49%	60%	39%	80%	62%

問7 校庭開放以外に放課後の時間を利用してどのような活動があると良いですか。
(※複数回答可)

	精道	宮川	山手	朝日	潮見	打出	浜風	岩園	合計
1. 異世代交流(昔遊びなど)	188	137	160	105	92	142	84	143	1,051
2. スポーツ指導	415	322	260	203	178	319	176	207	2,080
3. 本の読み聞かせ	79	94	88	41	43	55	39		439
4. 教室等で宿題などをする	306	266	250	158	165	286	115		1,546
5. その他	22	20	31	12	8	13	17	33	156
	精道	宮川	山手	朝日	潮見	打出	浜風	岩園	

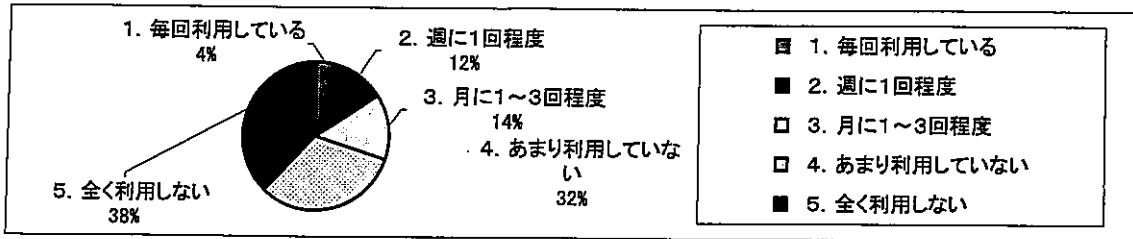
問8 意見(各小学校参照)

＜芦屋市立全小学校 合計＞

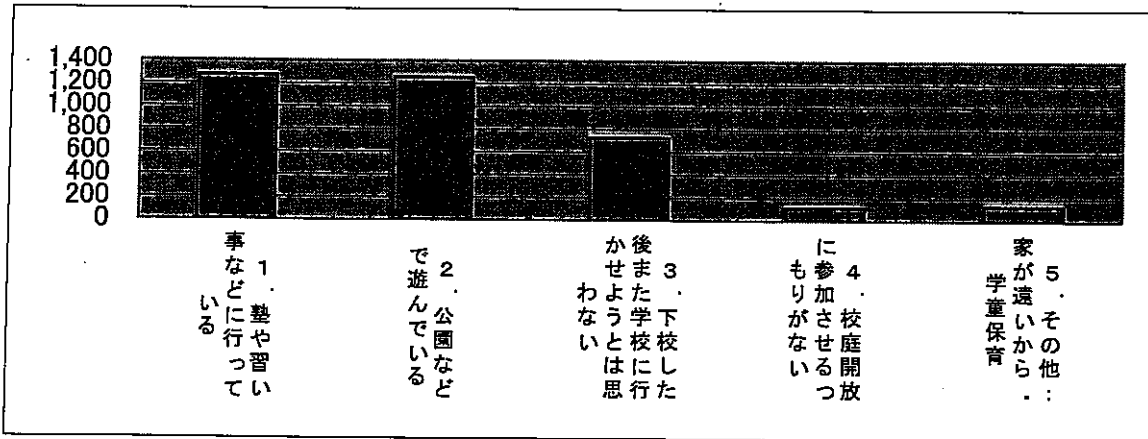
校庭開放(放課後子どもプラン事業)に関するアンケート結果

実施時期	平成24年6月, 平成23年11月
配布数(児童数)	4,755人
回収枚数	2,927枚
回答率	62%

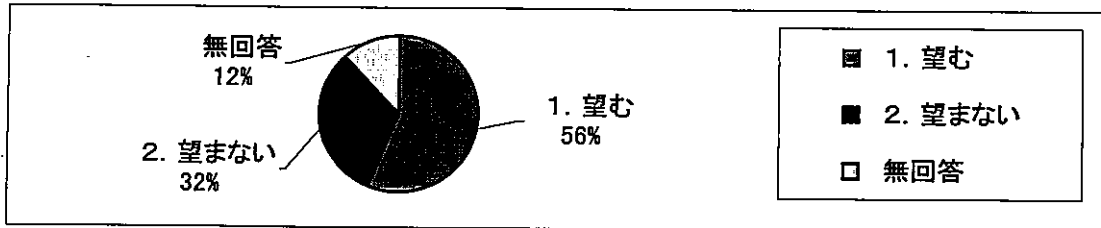
問3 お子様は、放課後に校庭開放を利用したことがありますか？(岩園除く)



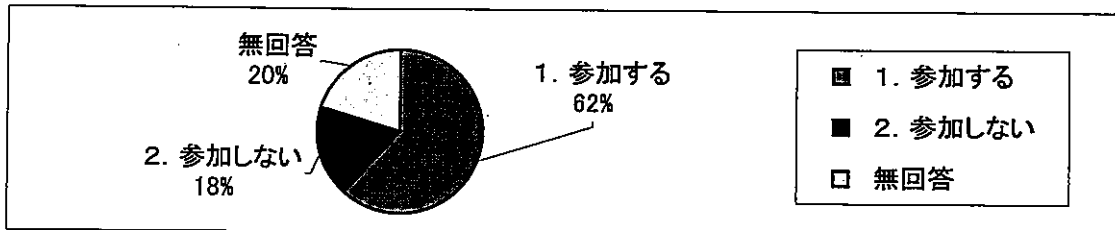
問4 校庭開放を利用しない理由 (複数回答可)(岩園除く)



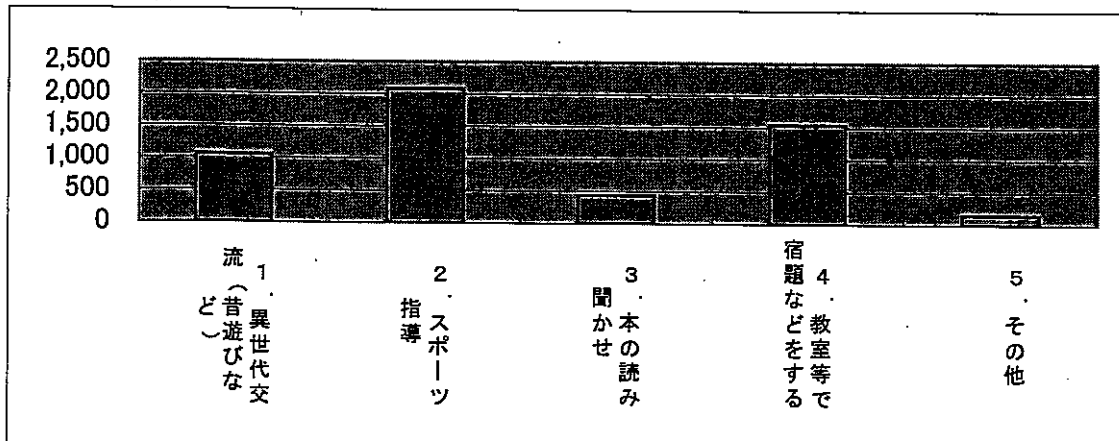
問5: 一旦下校せずに学校に残って参加できるようにすることを望みますか。(全校)



問6: 一旦下校せずに参加できるようになれば、校庭開放に参加しますか。(全校)



問7 校庭開放以外に放課後の時間を利用してどのような活動があると良いですか。(複数回答可)(岩園の除く)



校庭開放(放課後こどもプラン事業)に関するアンケート

H24.6月実施

問1	学校名：精道小学校	全校児童699人	回収率74%	1年	2年	3年	4年	5年	6年	回収枚数
問2	学年：全校集計			120	78	90	87	67	75	517

問3 お子様は、放課後に校庭開放を利用したことがありますか。

1. 毎回利用している	1	4	2	8	1	9	合計
2. 週に1回程度	5	11	8	16	4	10	25
3. 月に1～3回程度	5	7	15	20	5	12	54
4. あまり利用していない	26	26	49	29	34	32	64
5. 全く利用しない	83	30	16	14	23	12	196
							178

問4 校庭開放を利用しない理由 ※複数回答

1. 塾や習い事などに行っている	54	33	38	42	38	37	合計
2. 公園などで遊んでいる	51	36	45	35	35	23	242
3. 下校した後また学校に行かせようとは思わない	32	15	13	10	7	7	225
4. 校庭開放に参加させるつもりがない	2	0	1	1	1	0	84
5. その他：家が遠いから・学童保育	8	4	5	2	0	0	5
							19

問5 一旦下校せず学校に残って参加できるようにすることを、望みますか。

1. 望む	65	38	52	44	38	36	合計
2. 望まない	32	33	28	32	21	24	273
無回答	23	7	10	11	8	15	170
							74

問6 一旦下校せずに参加できるようになれば、校庭開放に参加しますか。

1. 参加する	71	45	66	49	39	45	合計
2. 参加しない	20	19	11	14	12	11	315
無回答	29	14	13	24	16	19	87
							115

問7 校庭開放以外に放課後の時間を利用してどのような活動があると良いですか。
※複数回答

1. 異世代交流(昔遊びなど)	59	33	35	31	17	13	合計
2. スポーツ指導	98	63	80	70	48	56	188
3. 本の読み聞かせ	21	21	15	14	3	5	415
4. 教室等で宿題などをする	57	47	49	61	44	48	79
5. その他	3	4	3	3	3	6	306
1年:学習指導, コミスクの時間を早くする, 外遊び, 吹奏楽等クラブ活動							22
2年:大人数での遊び, 音楽や英語を遊びを通じて身につけられる活動, 特になし							
3年:図書室開放, クラブ活動							
4年:外遊び, クラブ活動, ない							
5年:クラブ活動, 勉強指導, 今日「ドッチボールの日」などと一人参加できる催し, 絵画・図工などの制作活動							
6年:とにかく外で遊ぶこと, 地域へのボランティア活動, 補習, 茶華道・絵画指導など, 学内塾, 図書室開放							

問8 お気付きの点

1年

- ・学校から遠いので参加したことがない。安全を確保した上でなら参加させたい。
- ・一旦下校なしで遊んで帰ってきて、宿題が出来るか心配。
- ・名古屋の小学校には1~6年生まで希望者を預かってもらうシステムがあった。一旦帰宅すると利用しにくい。
- ・芦屋市では放課後、高学年性が部活動をしないことに驚いている。
- ・竹馬、一輪車、鉄棒など家庭では技術・道具的に教えにくいものを体験できると良い。
- ・冬場は暗い帰り道が心配なのでそのまま残ったほうが良い。
- ・一旦下校せずそのままだと荷物はどこに置くのか？人数が多くなると安全面でも心配。

2年

- ・もっと開放日を増やして欲しい。本当は公園よりも校庭で友達と遊べるほうが安全で安心。
- ・家が遠いので一旦下校してからまた学校には行けないが、一旦下校なしになると宿題ができなくなりそう。
- ・下校せず参加するのなら、「下校のお知らせメール」も導入して欲しい。
- ・学童がなくなる4年生以降、放課後活動があれば保護者として安心。
- ・世田谷区の「BOP事業」が有意義だった。芦屋にそのような制度がなくて残念。
- ・川西グラウンドの一般開放についても一考が必要。営利目的のスポーツ教室が使用している。

3年

- ・問4に「学童保育」の項目がないのはおかしい。
- ・一旦下校しなければ参加しやすくはなるが、子どもの状況把握・伝達方法等のルール作りが必要。
- ・習い事等と開放日が重なっているのも、もっと開放日を増やして欲しい。
- ・宝塚市では昔遊びなど実施している。学童保育がない4年生以降にこうしたことがあると良い。
- ・日本文化の茶道・華道・武道などに触れる機会が欲しい。
- ・ボランティアの管理人以外に見守り注意できる人(先生)が居て欲しい。

4年

- ・校庭開放日数をもっと増やして欲しい。
- ・一旦下校するメリット(沢山のびのび遊べる)デメリット(けじめがつかない、学校外にもいってしまう)
- ・公園ではボール遊びが出来ないので、校庭で遊べるのは貴重。
- ・保護者のある程度の参加も必要。「下校お知らせメール」の導入とあわせて検討を。
- ・東京の学校では一旦下校せずに遊んでいた。サポートの先生が数人ついてくれていた。
- ・校庭開放だけでなく、図書室・教室の一部も開放して欲しい。
- ・帰宅せず利用する場合、先生と親の連絡がスムーズにいくように考える必要がある。
- ・開放日以外でも、子どもたちは遅くまで遊んでいることがある。

5年

- ・開放日を増やして欲しい。友達と遊ぶ都合の良い日と開放日が合わないことがある。
- ・一旦下校しない場合は、学校と親との連絡方法のルールが必要。(万全の安全確保)
- ・体力低下が言われているので、体を動かせる有意義な校庭開放であってほしい。
- ・帰る時間は放送で知らせて欲しい。

6年

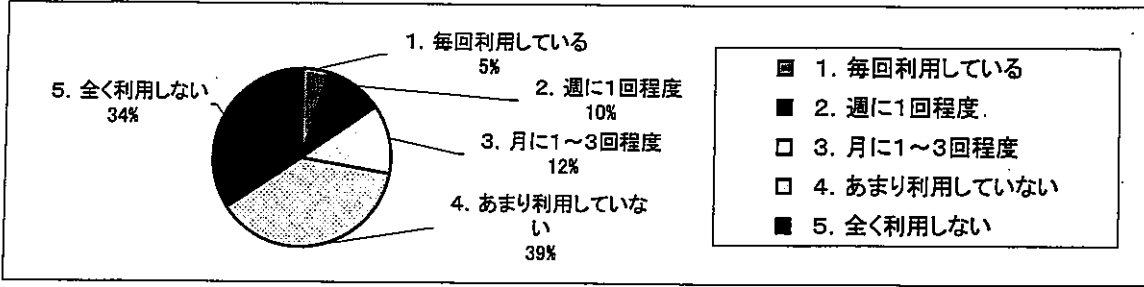
- ・家が遠いので一旦下校なしになれば良いが、参加する場合のルール連絡方法が大事。
- ・体を動かして遊べる校庭開放をありがたいと思っている。
- ・何曜日に実施しているか忘れてしまう。
- ・放課後寺子屋のようなものを地域の方の協力を得て、開いて欲しい。

＜芦屋市立精道小学校＞

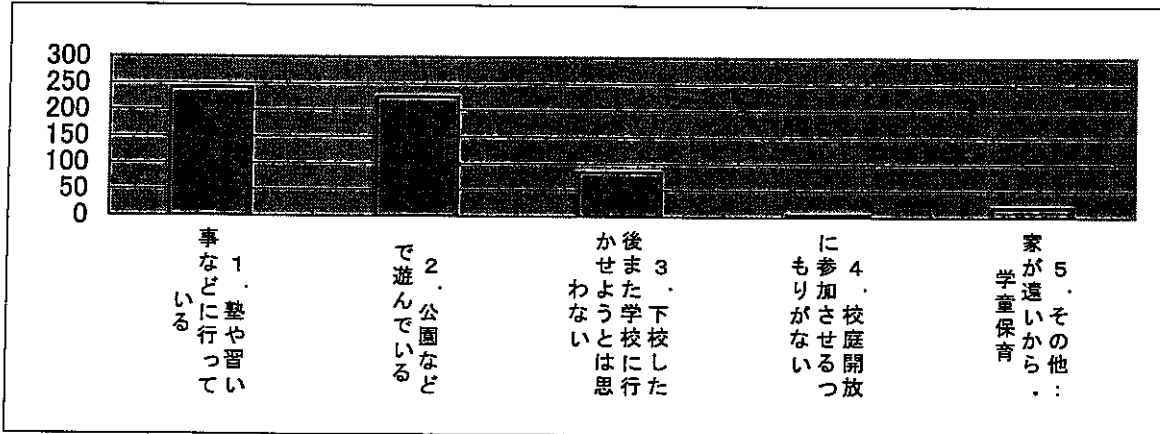
校庭開放(放課後子どもプラン事業)に関するアンケート結果

実施時期	平成24年6月
配布数(児童数)	699人
回収枚数	517枚
回答率	74%

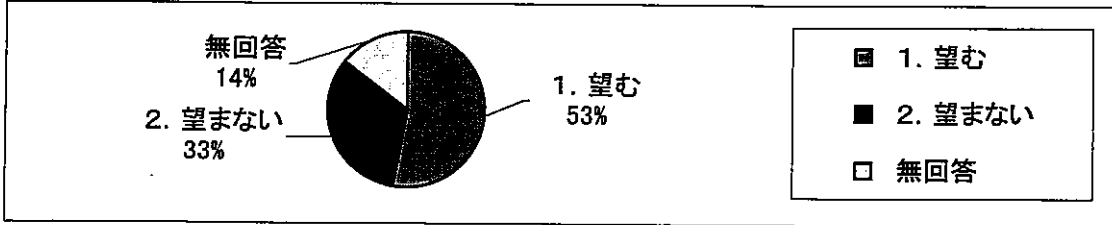
問3 お子様は、放課後に校庭開放を利用したことがありますか？



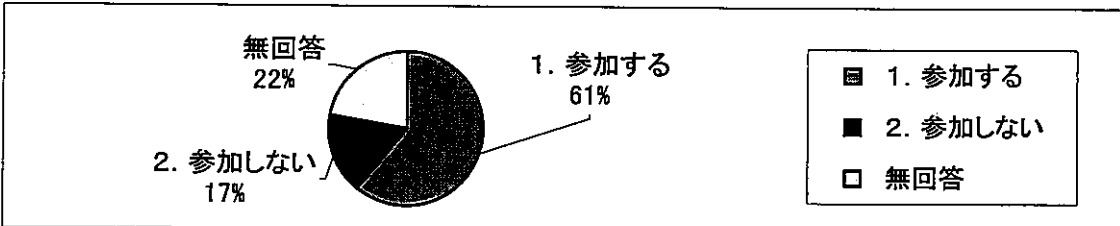
問4 校庭開放を利用しない理由 (複数回答可)



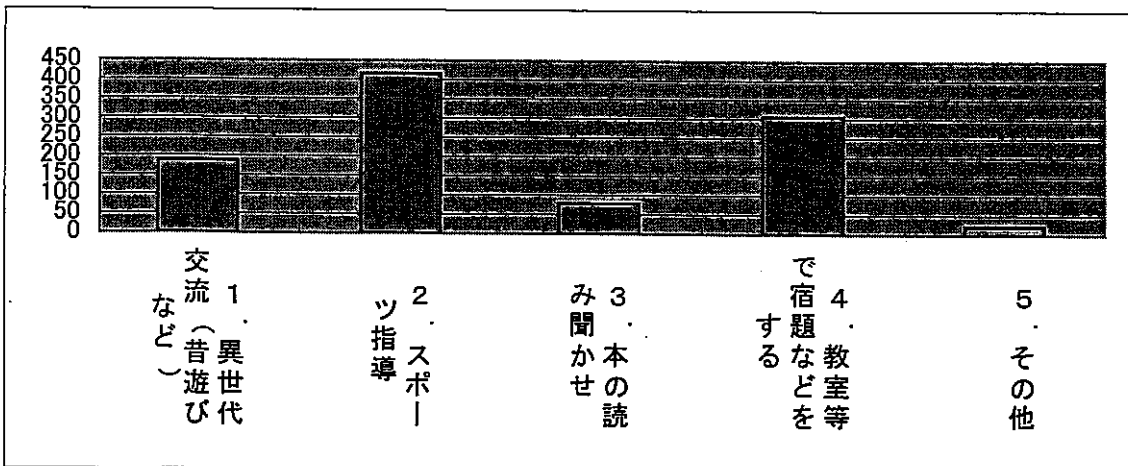
問5: 一旦下校せずに学校に残って参加できるようにすることを望みますか。



問6: 一旦下校せずに参加できるようになれば、校庭開放に参加しますか。



問7 校庭開放以外に放課後の時間を利用してどのような活動があると良いですか。(複数回答可)



校庭開放(放課後こどもプラン事業)に関するアンケート

H24.6月実施

問1	学校名：宮川小学校	全校児童697人	回収率67%	1年	2年	3年	4年	5年	6年	回収枚数
問2	学年：全校集計			95	81	95	58	72	63	

問3 お子様は、放課後に校庭開放を利用したことがありますか。

1. 毎回利用している	5	2	9	6	4	5	合計	
2. 週に1回程度	10	24	22	15	15	19		31
3. 月に1～3回程度	17	22	30	19	15	15		105
4. あまり利用していない	16	24	26	13	30	16		118
5. 全く利用しない	47	9	8	5	8	8		125
							85	

問4 校庭開放を利用しない理由 ※複数回答

1. 塾や習い事などに行っている	37	25	22	15	29	22	合計	
2. 公園などで遊んでいる	30	21	20	16	22	12		150
3. 下校した後また学校に行かせようとは思わない	14	1	9	3	2	3		121
4. 校庭開放に参加させるつもりがない	2	0	0	0	0	0		32
5. その他：家が遠いから・学童保育	9	4	2	0	0	0		2
							15	

問5 一旦下校せず学校に残って参加できるようにすることを、望みますか。

1. 望む	40	29	29	22	21	14	合計	
2. 望まない	41	41	59	29	40	39		155
無回答	14	11	7	7	11	10		249
							60	

問6 一旦下校せずに参加できるようになれば、校庭開放に参加しますか。

1. 参加する	49	48	46	34	28	23	合計	
2. 参加しない	17	23	29	13	21	23		228
無回答	29	10	20	11	23	17		126
							110	

問7 校庭開放以外に放課後の時間を利用してどのような活動があると良いですか。
※複数回答

1. 異世代交流(昔遊びなど)	39	28	28	14	17	11	合計	
2. スポーツ指導	71	61	64	36	49	41		137
3. 本の読み聞かせ	31	19	19	9	6	10		322
4. 教室等で宿題などをする	51	41	63	33	40	38		94
5. その他	3	2	3	5	4	3		266
							20	

1年:虫さがし,雨天の場合を考慮した室内遊び

2年:かきかたの指導,音楽・芸術の指導

3年:先生と子どもが遊ぶ,普通に遊び場でよい,図書室の開放・授業の補習,中学生くらいの子が遊んでくれる

4年:なくても良い,わからない教科の補習,担任以外の先生の学習会,体育館でダンスやバトミントン,習字・音楽絵画等

5年:補習・先生との遊び・先生と保護者の交流,何もなくてよい,工作や手芸等の物づくり

6年:先生と遊ぶ,体育館でできるダンスなど,特になし

問8 お気付きの点

1年

- ・公園ではボール遊びができないので、校庭を使えるのはありがたい、助かっている。
- ・ミマモルメ等で校庭開放に参加していることが分かれば助かる。
- ・全児童を対象に毎月利用希望表を提出するなどのシステムが必要。
- ・西宮ではそのまま遊べる校庭開放が、愛知県の公立小では毎日部活がある。
- ・パトロール等の警備の強化と子どもの安全性の確保。
- ・一旦下校するかどうかは、各家庭のルールで良い。

2年

- ・学童がなくなる学年になったら参加したい。
- ・安全の確保がしっかり出来るなら参加する。管理人がどこにいるのかよくわからない。
- ・問7のような活動があればぜひ参加させたい。
- ・大阪の「いきいき」、横浜市の「浜っ子」のようなものがあれば良い。
- ・携帯の持込みを許可して欲しい。

3年

- ・一旦下校しなければはじめがつかない。下校時の安全の確保や各家庭のルールもあるので望まない。
- ・アスロンの指導を宮川でも実施して欲しい。
- ・夏休みのプール開放や7月の図書室開放の時期に合わせて一緒に考えて欲しい。
- ・自転車の駐輪マナーが悪いので注意を呼びかけて欲しい。
- ・門外の石垣のところでマナーの悪いことをしている。もう少し管理人の増員が必要。
- ・東灘区のミニコミ誌に仕事を教えてくれるグループが載っていた。活用してみたらどうか。
- ・問5と問6はほぼ同じ質問なので、どちらか1つで良いのでは？

4年

- ・一旦下校が良いかどうかは一長一短があるので、なんとも言えない。
- ・家庭でのルールの範疇だが、下校せず学校に残る場合は前もって家の人に伝えるようにしたい。
- ・公園ではボール遊びが出来ないので校庭で思い切り遊ばせてあげたい。
- ・子どもたちにアンケートしてみてもどうか？
- ・春休みや夏休みにも校庭で遊べると良いと思う。なんといっても学校は安心な場所。
- ・プールの有効利用を考えて欲しい。

5年

- ・放課後は指導者不在の自主活動なので不安。
- ・一旦下校せずに遊ぶのは良い面と悪い面があるので少し不安(だれと遊んでいるか、本当に学校に居るのか)
- ・体力向上のためのプログラムが欲しい。
- ・公園で出来ないスポーツが出来て助かる。校庭開放には感謝している。
- ・一旦下校する今までの校庭開放に賛成だが、家が遠くてなかなか参加できない。
- ・親が仕事しているので、夜6時頃まで家に保護者がいない。その辺が心配。
- ・芦屋は子どもが安心して遊べる施設が少ないので、校庭以外でも室内で遊べる所があれば良いのに。

6年

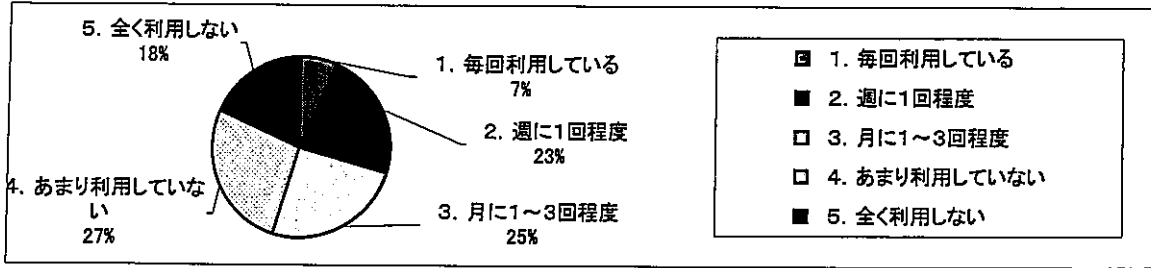
- ・問7のような活動があれば学童保育と併用できる可能性がある。留守宅に帰宅する高学年の児童は多いはず。
- ・自転車等のマナーが悪い。
- ・一旦下校の賛否両論。
- ・西宮の小学校の例。15:30から17:00まで30分刻みの下校時間が設定され、そのつど地区ごとの集団下校をしていた。
- ・親子で行き先と帰宅時間を決めて守れば「ノートに記入してから遊ぶ。」は必要ない。

＜芦屋市立宮川小学校＞

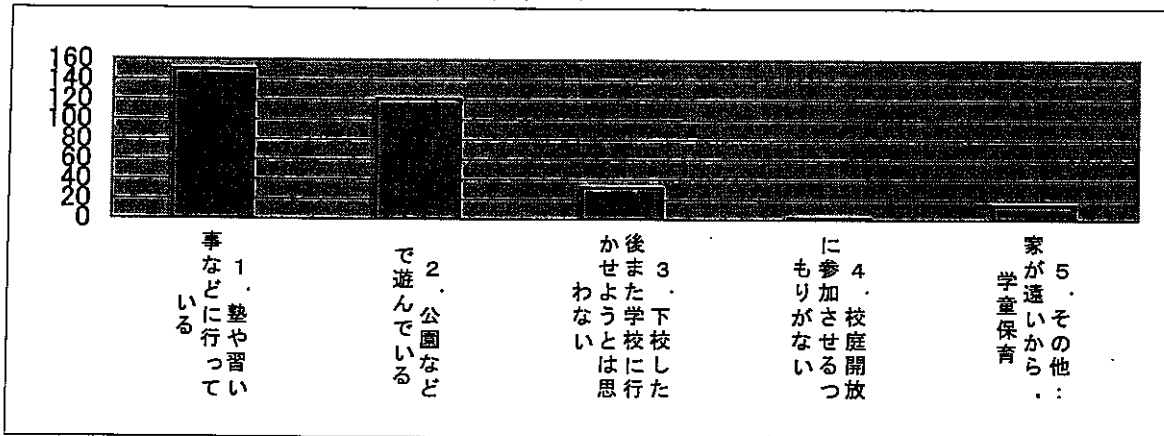
校庭開放(放課後子どもプラン事業)に関するアンケート結果

実施時期	平成24年6月
配布数(児童数)	697人
回収枚数	464枚
回答率	67%

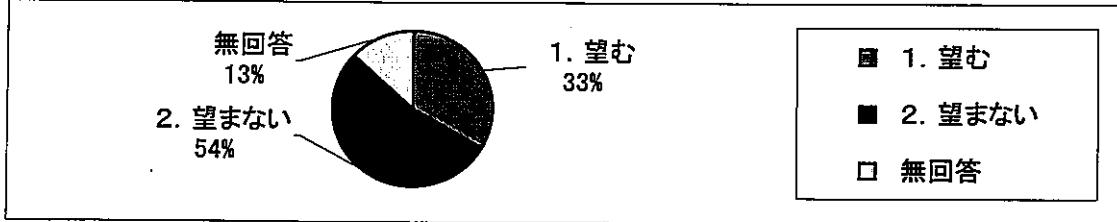
問3 お子様は、放課後に校庭開放を利用したことがありますか？



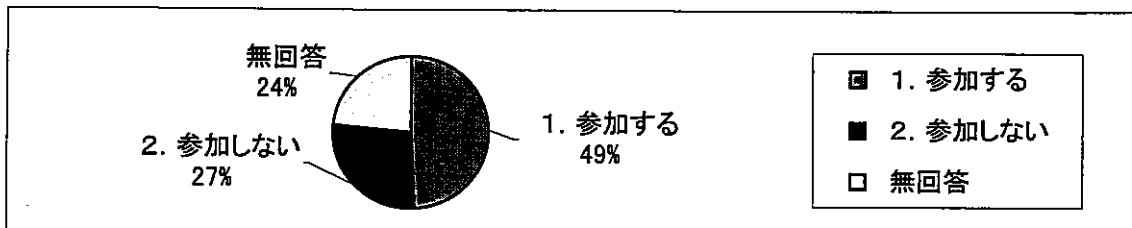
問4 校庭開放を利用しない理由 (複数回答可)



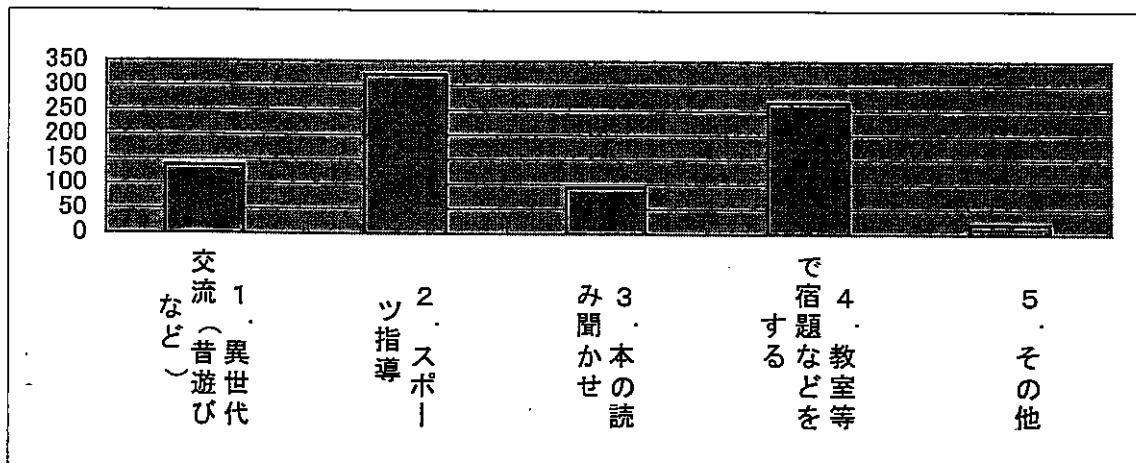
問5: 一旦下校せずに学校に残って参加できるようにすることを望みますか。



問6: 一旦下校せずに参加できるようになれば、校庭開放に参加しますか。



問7 校庭開放以外に放課後の時間を利用してどのような活動があると良いですか。(複数回答可)



校庭開放(放課後こどもプラン事業)に関するアンケート

H24.6月実施

問1 学校名：山手小学校	全校児童669人	回収率60%	1年	2年	3年	4年	5年	6年	回収枚数
問2 学年：全校集計			84	86	60	70	54	45	

問3 お子様は、放課後に校庭開放を利用したことがありますか。

1. 毎回利用している	0	0	0	3	4	3	合計	
2. 週に1回程度	6	4	4	8	7	9		10
3. 月に1～3回程度	0	5	5	14	9	4		38
4. あまり利用していない	9	19	20	30	15	10		37
5. 全く利用しない	69	58	31	15	19	19		103
							211	

問4 校庭開放を利用しない理由 ※複数回答

1. 塾や習い事などに行っている	23	35	17	28	24	23	合計	
2. 公園などで遊んでいる	15	22	14	18	6	8		150
3. 下校した後また学校に行かせようとは思わない	52	52	39	40	26	15		83
4. 校庭開放に参加させるつもりがない	0	1	1	0	0	0		224
5. その他：家が遠いから・学童保育	7	3	2	3	1	0		2
							16	

問5 一旦下校せず学校に残って参加できるようにすることを、望みますか。

1. 望む	69	70	53	64	46	34	合計	
2. 望まない	6	3	5	4	3	5		336
無回答	9	13	2	2	5	6		26
							37	

問6 一旦下校せずに参加できるようになれば、校庭開放に参加しますか。

1. 参加する	68	68	52	59	46	31	合計	
2. 参加しない	6	3	3	6	3	6		324
無回答	10	15	5	5	5	8		27
							48	

問7 校庭開放以外に放課後の時間を利用してどのような活動があると良いですか。
※複数回答

1. 異世代交流(昔遊びなど)	36	35	26	33	14	16	合計	
2. スポーツ指導	51	63	36	50	33	27		160
3. 本の読み聞かせ	24	28	13	12	9	2		260
4. 教室等で宿題などをする	43	50	46	52	36	23		88
5. その他	11	2	6	6	3	3		250
							31	

1年:1~4をコミスク講座等で対応, 他学年との交流, そろばん・音楽・絵画・図工の指導, 図書館の利用, 習い事の提供

2年:ドッチボール交流, 補習授業

3年:自転車・一輪車・竹馬, 1~6年の縦のつながり, グループ活動, 芸術的活動, 自習室, 子ども料理教室など

4年:ドッチボール, 図書室開放, 理科体験, アウトドアサバイバル体験, 異文化交流, トワイライトスクール

5年:自由に子どもたちで遊ぶ, 何もしない, 苦手教科の指導

6年:現状どおりで良い, ドッチボール, ケイドロ, 習い事

問8 お気付きの点

1年

- ・放課後より正規の授業に、より一層力を入れて欲しい。
- ・学童に通っていても参加できるように考えて欲しい。
- ・小学校でも部活動できる場が欲しい。体力増進・協調性・チームワーク・他学年との交流など効果が期待できる。
- ・一旦下校しなくなると、親が知らずに学校に残っていたりしないよう連絡帳を使い、先生が人数を把握して欲しい。
- ・公園と同じように、管理人なし土日も終日開放してはどうか？東灘の小学校では土曜日5時まで使える。
- ・地域のボランティアに異世代交流の場を作ってもらいたい。シルバーの社会貢献の場にもなる。
- ・1年生ですら5時間授業に宿題があるので、校庭利用するゆとりがない。めいっぱい安心して遊べる環境が必要。

2年

- ・山手小は学校区が広いので、一旦下校せずにすめば少しは遊べる。でも下校時が心配。
- ・ボール遊びをする場所がなく、どこも制限があるので体力低下も仕方ない。
- ・宿題をすませられるスペースの確保して欲しい。
- ・管理人を増員して不審者への注意を徹底すること。安全確保の強化をお願いしたい。
- ・遊びの規制をせず、自由にのびのびボール遊びなどさせてあげたい。

3年

- ・校区が広く一旦下校してからでは校庭で遊ぶ時間はないので、ぜひそのまま残って参加させたい。
- ・先生や保護者の居ない場所で遊び、トラブルが起きたときすぐ対応できるか心配。
- ・公園ではボール遊びができないので広い校庭で思いっきりボール遊びをさせて体力をつけてもらいたい。
- ・問7のような活動があれば参加させたい。
- ・他府県では放課後に宿題をしたり年配の方との交流の場があるようなので、ぜひ実施してもらいたい。
- ・そのまま残って遊んだとしても、遠い帰り道が心配なので参加させたくない。
- ・登録者には雨天中止の場合一斉メールを送るなどの配慮が必要。中止で留守宅に子どもが帰ってきて困ったことがある。
- ・スポーツよりも、音楽に関わるのが少ないので放課後に練習したものを発表する場があると良い。
- ・子どもは鉄棒などの苦手な体育を教えて欲しいとのこと。

4年

- ・親の許可を取っておく必要がある。
- ・異文化交流では語学としての英語ではなく、外国で物怖じすることのない接し方ができるようになって欲しい。
- ・ぜひ一旦下校せずに遊べるようになって欲しい。校区が広いので帰ってから遊ぶのは無理。
- ・トワイライトスクールでは生け花・茶道・クラフト・編み物・コーラス科学実験など文化的・芸術的な体験ができるよう望む。

5年

- ・一旦帰宅してから遊ぶというルールを知らず、ほぼ毎日放課後校庭で遊んでいる。
- ・学校が遠いので一旦帰宅してから遊ぶ気にならない様子。
- ・土日家庭の責任として開放し、自由に走り回れる場所としてオープンにすることを望む。
- ・一旦下校せずに済めば友達と遊んで帰れるので良いと思う。

6年

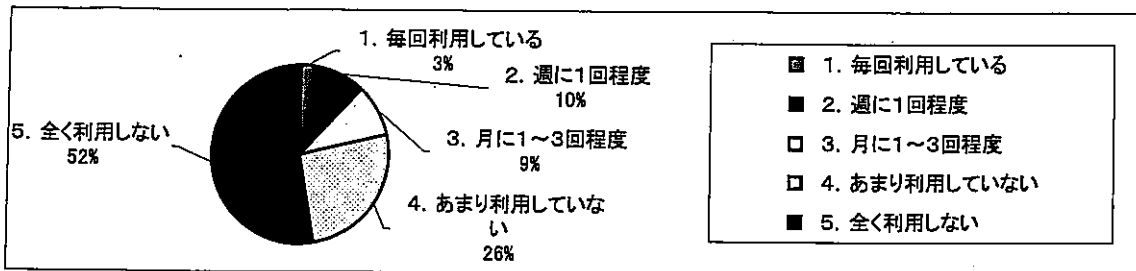
- ・校庭開放自体のPRが不足している。
- ・家から学校までの距離が遠いのが利用しにくい原因。いろんな活動よりも家が離れている友達とも仲良く遊べる場を作って欲しい。
- ・このアンケートは素晴らしい試みなので、結果を公表して欲しい。平日と土曜日では質が異なっているはず。
- ・校庭でも公園でも野球・サッカーができないとなるとどこでボール遊びをしたら良いのでしょうか？
- ・一旦下校せずに参加することに肯定的
- ・問7の4は教育格差を解決するには良いが、問題点も多くでてくると思う。
- ・転校前にいた学校では地域の方が講師で、材料費のみで受講できる習い事があった。親の負担もなく好評だった。

＜芦屋市立山手小学校＞

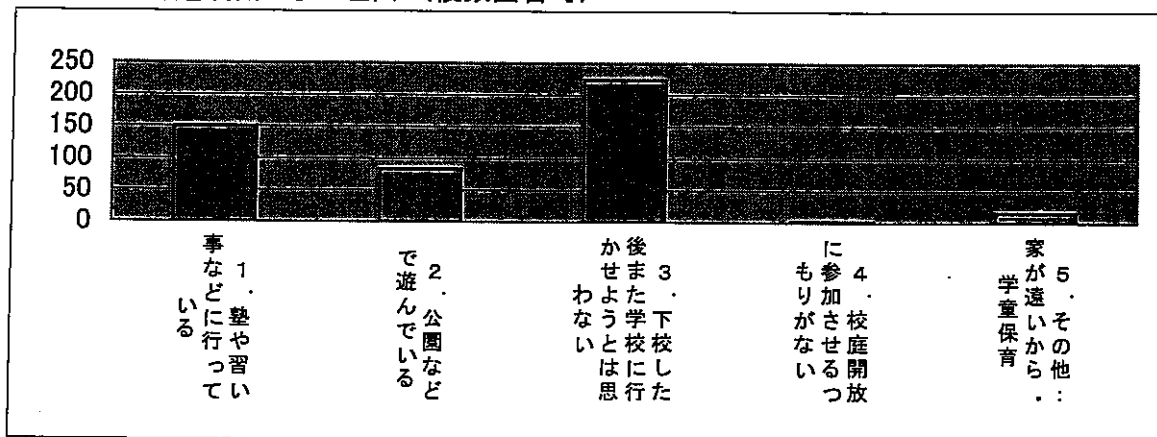
校庭開放(放課後子どもプラン事業)に関するアンケート結果

実施時期	平成24年6月
配布数(児童数)	669人
回収枚数	399枚
回答率	60%

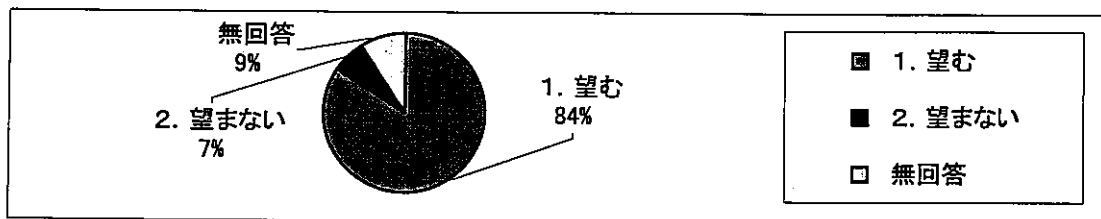
問3 お子様は、放課後に校庭開放を利用したことがありますか？



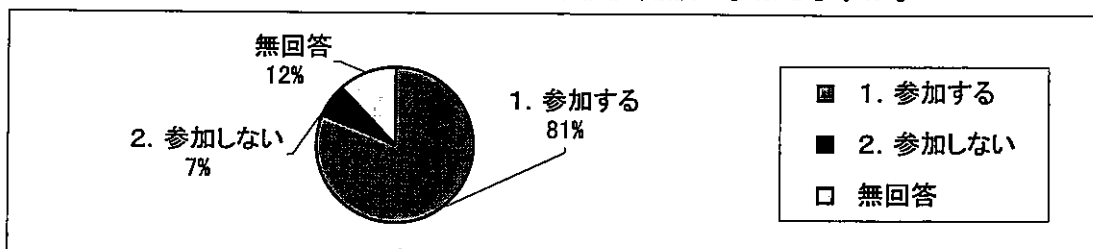
問4 校庭開放を利用しない理由 (複数回答可)



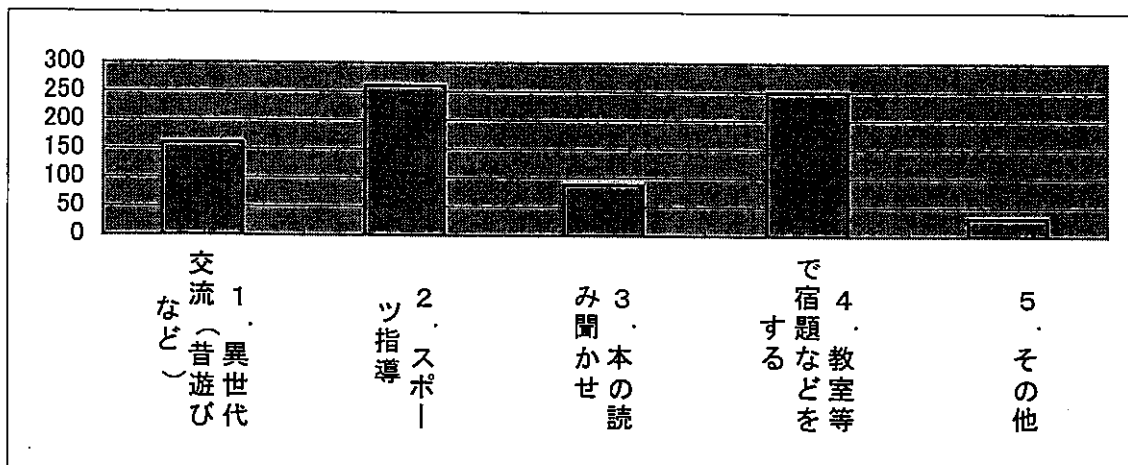
問5: 一旦下校せずに学校に残って参加できるようにすることを望みますか。



問6: 一旦下校せずに参加できるようになれば、校庭開放に参加しますか。



問7 校庭開放以外に放課後の時間を利用してどのような活動があると良いですか。(複数回答可)



校庭開放(放課後こどもプラン事業)に関するアンケート

H24.6月実施

問1	学校名：朝日ヶ丘小学校	全校児童468人	回収率63%	1年	2年	3年	4年	5年	6年	回収枚数
問2	学年：全校集計			45	60	50	52	36	53	

問3 お子様は、放課後に校庭開放を利用したことがありますか。

1. 毎回利用している	0	1	0	1	2	0	合計	
2. 週に1回程度	1	3	5	4	7	4		4
3. 月に1～3回程度	3	8	4	7	5	9		24
4. あまり利用していない	9	20	17	23	11	17		36
5. 全く利用しない	32	28	24	17	11	23		97
							135	

問4 校庭開放を利用しない理由 ※複数回答

1. 塾や習い事などに行っている	15	19	20	24	14	30	合計	
2. 公園などで遊んでいる	22	26	25	21	11	15		122
3. 下校した後また学校に行かせようとは思わない	18	19	17	14	9	14		120
4. 校庭開放に参加させるつもりがない	2	2	2	0	0	3		91
5. その他：家が遠いから・学童保育	4	5	2	1	0	0		9
							12	

問5 一旦下校せず学校に残って参加できるようにすることを、望みますか。

1. 望む	33	46	33	40	25	30	合計	
2. 望まない	9	9	10	5	6	9		207
無回答	3	5	7	7	5	14		48
							41	

問6 一旦下校せずに参加できるようになれば、校庭開放に参加しますか。

1. 参加する	33	45	33	41	22	30	合計	
2. 参加しない	5	6	8	4	3	10		204
無回答	7	9	9	7	11	13		36
							56	

問7 校庭開放以外に放課後の時間を利用してどのような活動があると良いですか。
※複数回答

1. 異世代交流(昔遊びなど)	24	24	16	15	11	15	合計	
2. スポーツ指導	33	43	34	33	28	32		105
3. 本の読み聞かせ	7	11	8	5	3	7		203
4. 教室等で宿題などをする	21	30	32	22	25	28		41
5. その他	1	2	1	2	2	4		158
							12	

1年:図書室の開放

2年:自由遊び, 普段交流のない友達と遊ぶ, どれも本人次第

3年:補習

4年:図書室の開放, 図工・工作・絵

5年:音楽や園芸等, 話を聞く人が居て他愛の無い会話ができる場所

6年:宿題以外の勉強教室, 図書館や教室の開放, なし

問8 お気付きの点

1年

- ・一旦下校しなくてよくなると、集団下校が出来ないのでその安全確保が重要。
- ・休み時間は外で遊ぶことになっているので、放課後に図書室が開放されれば良いと思う。
- ・ミマモルメのお試し期間がある間に(6月末)一旦下校せず参加できるなら、参加させたい。早めの返答希望
- ・アスロンの指導日が増えると嬉しい。
- ・一旦下校しないことで増える放課後の遊び時間を、有効に使わせたい。

2年

- ・低学年なので特に安全面(遊んでいる間&下校時)の不安。連絡帳の活用。
- ・参観日、懇談日や家庭訪問週間など早めに下校する日に問7のような事業があれば助かる。
- ・大阪の小学校ではボランティア学生が勉強を見たり、お年寄りが昔遊びを教えたりしている。
- ・野球やサッカーなど、公園ではできないので校庭で思いっきり遊ばせてあげたい。
- ・一旦下校しないなら、校庭開放時間まで宿題をする教室等があれば更にありがたい。
- ・先生からの校庭開放参加の呼びかけがあれば良い。学校の備品(ボール等)を使わせて欲しい。

3年

- ・一旦下校しない場合、今までの家庭での習慣が乱れる。(帰って宿題をしてから遊ぶ等)
- ・家が遠いので参加させにくい。一旦下校しなくて良くなっても、下校時が心配。
- ・校庭開放日を増やして欲しい。あるいは毎週同じ曜日でなく、たまには変えて欲しい。(習い事と重なる)
- ・校庭開放は場所提供だけで公園遊びと同じ環境なら、一旦下校せず遊ぶのは子どもに良くない癖をつける。
- ・芦屋はロッククライミング発祥の地なのに校庭にそのような施設がないのが残念。
- ・岩園小のほうが近いが校区の分け方がへん。岩園小学校の校庭開放の方を利用したい。
- ・放課後に友達と宿題したり、遊んだり授業とは違うものに触れさせたい。

4年

- ・アスロンは内容が中途半端、参入曜日が増えて欲しい。
- ・一旦下校しないなら、公衆電話を設置して欲しい。
- ・安全確保の問題。
- ・仕事している親にとっては、一旦下校がないのはありがたい。
- ・曜日の制約があるので不都合。毎日可能にして欲しい。
- ・放課後まで学校に頼りすぎることのないようにしたい。

5年

- ・一旦下校してからの参加は難しいので、下校せずにすむのは良いと思う。
- ・学校によるがミマモルメがあれば行動がわかるので、そのまま学校にいても親は心配しないと思う。
- ・公園でボール遊びが出来ないので校庭でさせてあげたい。
- ・片付けをせず、時間になったら帰る子が居る。家庭のしつけの問題だが、今一度子どもたちに確認して欲しい。

6年

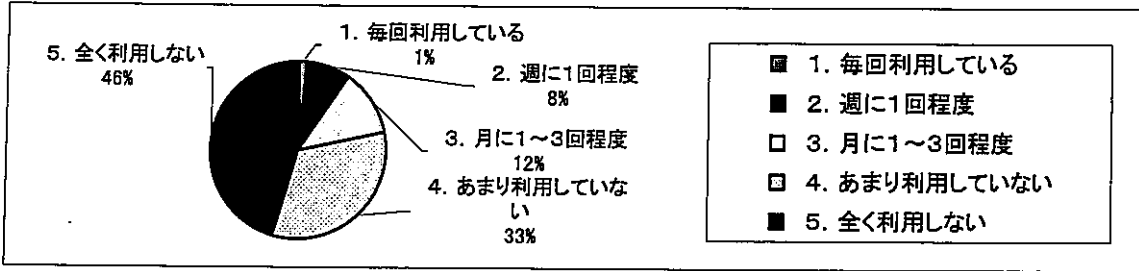
- ・まわりは暗い公園しかないので行かせたくない。岩園小学校のほうが近いので本当は岩小に行かせたい。
- ・下校時の安全が確保できないので、今までどおりが良い。
- ・公園ではボール遊びができないので、校庭で安心して体を動かす遊びをしてもらいたい。
- ・校庭開放日と習い事が重なっているので、参加できない。
- ・東京都渋谷区の放課後クラブは毎日5時まで管理の下で参加可能。働いている家庭は6時までだった。
- ・一旦下校は遠方の家は遊べないに等しい。

＜芦屋市立朝日ヶ丘小学校＞

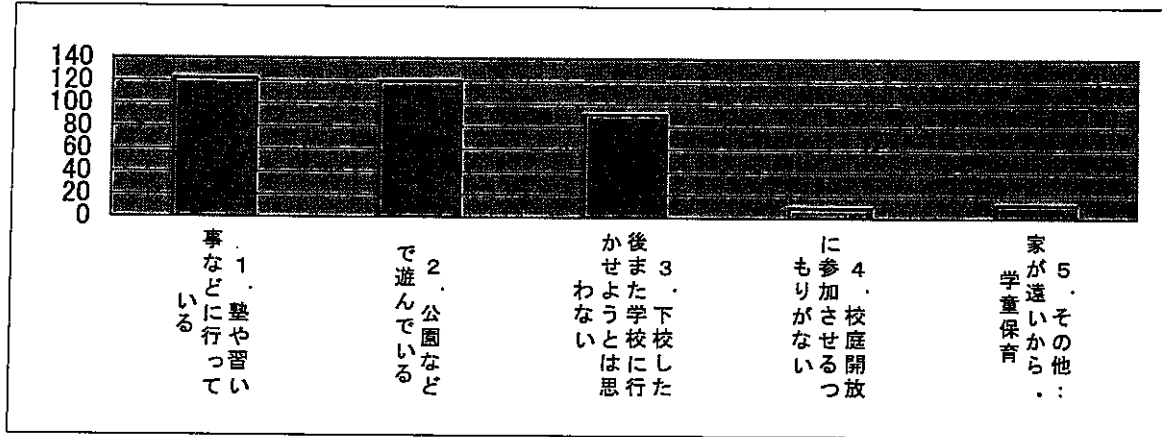
校庭開放(放課後子どもプラン事業)に関するアンケート結果

実施時期	平成24年6月
配布数(児童数)	468人
回収枚数	296枚
回答率	63%

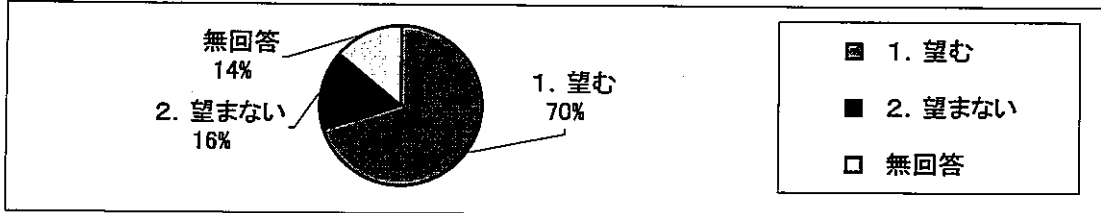
問3 お子様は、放課後に校庭開放を利用したことがありますか？



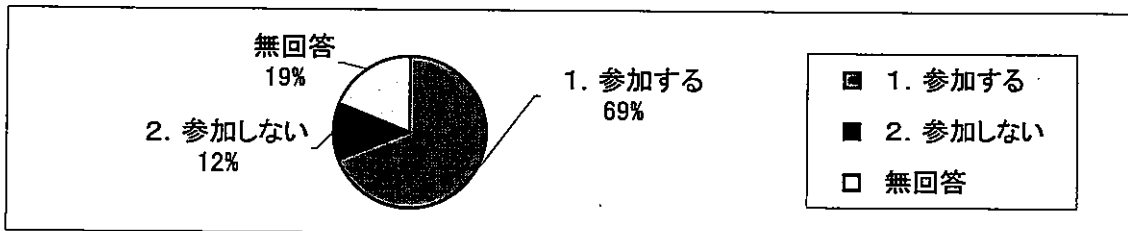
問4 校庭開放を利用しない理由 (複数回答可)



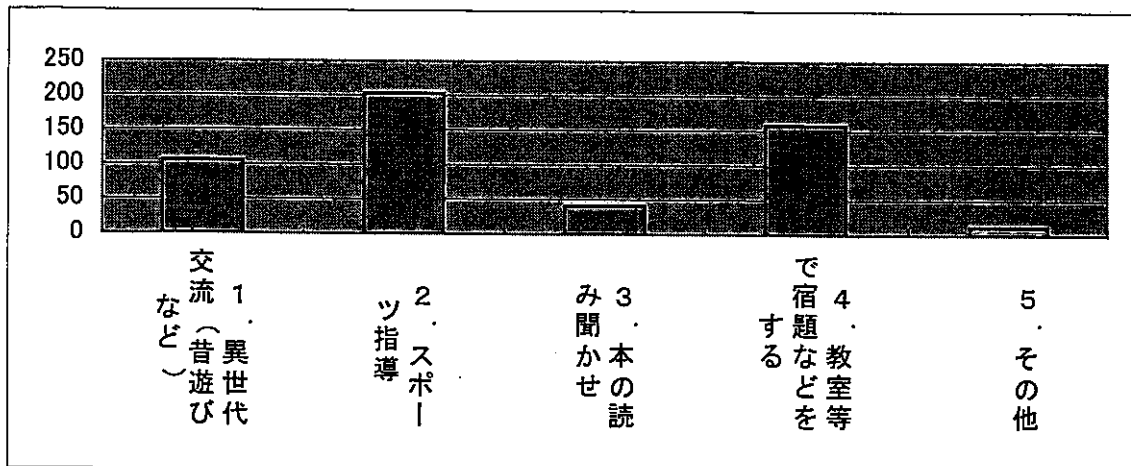
問5: 一旦下校せずに学校に残って参加できるようにすることを望みますか。



問6: 一旦下校せずに参加できるようになれば、校庭開放に参加しますか。



問7 校庭開放以外に放課後の時間を利用してどのような活動があると良いですか。(複数回答可)



校庭開放(放課後こどもプラン事業)に関するアンケート

H24.6月実施

問1	学校名：潮見小学校	全校児童581人	回収率45%	1年	2年	3年	4年	5年	6年	回収枚数
問2	学年：全校集計			57	59	34	59	11	43	

問3 お子様は、放課後に校庭開放を利用したことがありますか。

1. 毎回利用している	1	0	0	0	0	0	合計	
2. 週に1回程度	2	1	2	2	0	1		1
3. 月に1～3回程度	1	3	3	8	1	3		8
4. あまり利用していない	8	16	14	23	5	16		19
5. 全く利用しない	45	39	15	26	5	23		82
							153	

問4 校庭開放を利用しない理由 ※複数回答

1. 塾や習い事などに行っている	19	22	8	30	6	25	合計	
2. 公園などで遊んでいる	28	33	20	35	9	18		110
3. 下校した後また学校に行かせようとは思わない	19	22	9	13	1	3		143
4. 校庭開放に参加させるつもりがない	0	0	1	1	0	1		67
5. その他：家が遠いから・学童保育	0	0	5	0	0	0		3
							5	

問5 一旦下校せず学校に残って参加できるようにすることを、望みますか。

1. 望む	28	29	21	22	7	9	合計	
2. 望まない	20	25	10	31	3	17		116
無回答	2	5	3	6	1	17		106
							34	

問6 一旦下校せずに参加できるようになれば、校庭開放に参加しますか。

1. 参加する	29	35	22	29	7	9	合計	
2. 参加しない	15	20	9	21	1	17		131
無回答	13	4	3	9	3	17		83
							49	

問7 校庭開放以外に放課後の時間を利用してどのような活動があると良いですか。
※複数回答

1. 異世代交流(昔遊びなど)	21	23	16	20	7	5	合計	
2. スポーツ指導	45	39	24	40	8	22		92
3. 本の読み聞かせ	11	10	8	10	2	2		178
4. 教室等で宿題などをする	30	38	26	36	7	28		43
5. その他	2	1	3	1	0	1		165
1年:習字・そろばんなど昔からの習い事, 塾の講師による勉強会							8	
2年:塾に行く子もいて, 学力の差が家庭環境により異なる。								
3年:楽しそうなイベント, ピアノが弾きたい,								
4年:遊びを教えて欲しい								
5年:								
6年:少人数で遊べる遊びの指導								

問8 お気付きの点

1年

- ・4年生～6年生の学童を作って欲しい。
- ・学童保育を利用しているの、利用していない。
- ・一旦下校しなくて済むなら、参加させたい。(家が遠いため)
- ・集団下校やお迎えのこと。1年生でまだ小さいので下校時の安全を重視。
- ・他市では水泳県大会や陸上県大会の選抜者が放課後練習をしましたが、こちらではしないのですか？

2年

- ・学童保育を利用しているの、利用していない。
- ・一旦下校しなくて済むなら、参加させたい。(家が遠いため)
- ・集団下校のこと。見守り等、下校時の安全を重視。
- ・アスロンのかけっこ教室が楽しかった。スポーツ教室があれば不定期でも有料でも参加したい。
- ・校庭開放では区切りメリハリがなくなり悪影響になりかねない。

3年

- ・かけっこ教室などのスポーツ指導希望
- ・集団下校、万全の安全対策、利用者が急増した場合の対策
- ・利用ルールの周知徹底
- ・メールサービスを利用している。
- ・放課後よりも長期休暇中の子どもの生活を充実させて欲しい。来年は学童保育がないので。
- ・学童保育が3年までなので4年生以降は、学童の時間までそのまま遊ばせて欲しい。
- ・東京都武蔵野市の留守番学級併設児童館の制度を参考にしてみてもどうか。

4年

- ・校庭開放の情報があまりなく、利用していなかった。
- ・学校から遠いので近くの公園で遊ぶほうが多い。(特に南芦屋浜地区)
- ・保護者が学校行事で集まる日は一旦下校せず、校庭で遊んだり図書室開放があれば良い。
- ・自分の時はプールも校庭も水泳・陸上県大会に出る子が練習していた、学校からのエントリーはないのか？
- ・子どもへのアンケートのほうが現状を把握できるはず。
- ・安全面での確保

5年

- ・安全の確認。携帯電話の持込みの許可(朝預かり下校時に子に渡す)
- ・家から学校まで遠いので近くの公園で遊んでくれたほうが安心。
- ・かけっこ教室などのスポーツ指導希望。
- ・学校の帰宅時間が高学年ほど遅いので、一旦帰宅して学校へ又行くのは無理。

6年

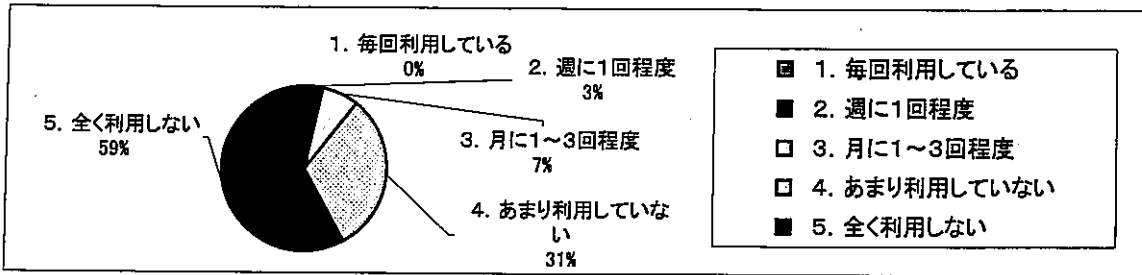
- ・体を動かす遊びを教えて欲しい。
- ・学校が家から遠いので、一旦帰って遊びに行く時間が無い。
- ・何のために校庭開放日は参加が原則になっているのか分からない。事業に組み込んだらどうか。
- ・下校時の安全の確保

＜芦屋市立潮見小学校＞

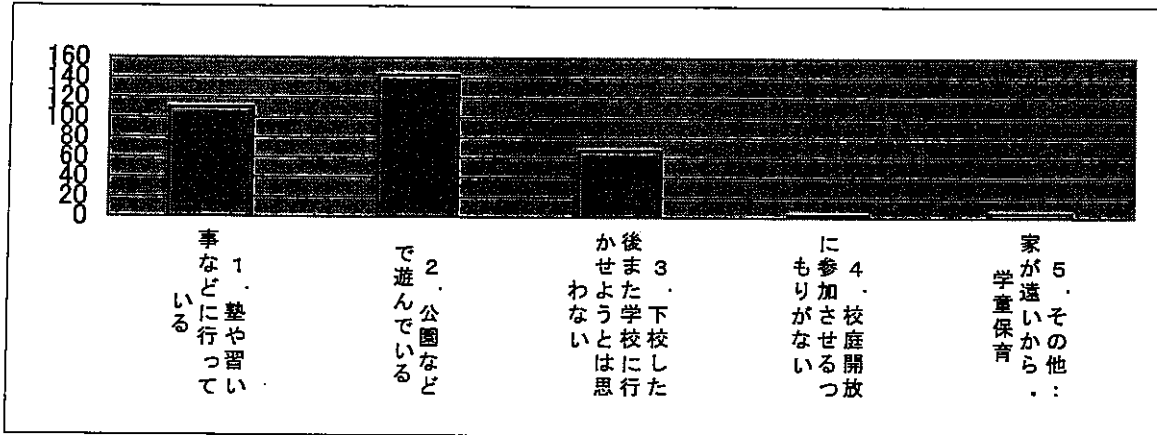
校庭開放(放課後子どもプラン事業)に関するアンケート結果

実施時期	平成24年6月
配布数(児童数)	581人
回収枚数	263枚
回答率	45%

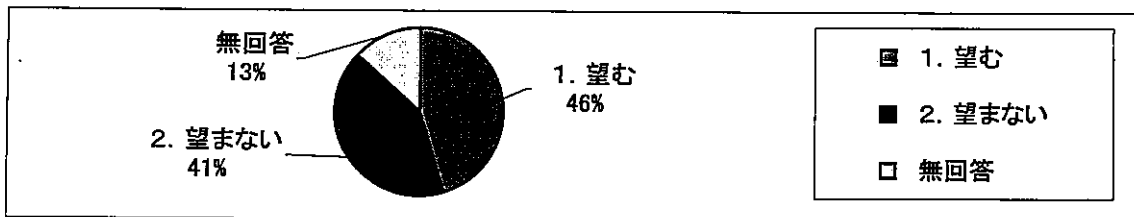
問3 お子様は、放課後に校庭開放を利用したことがありますか？



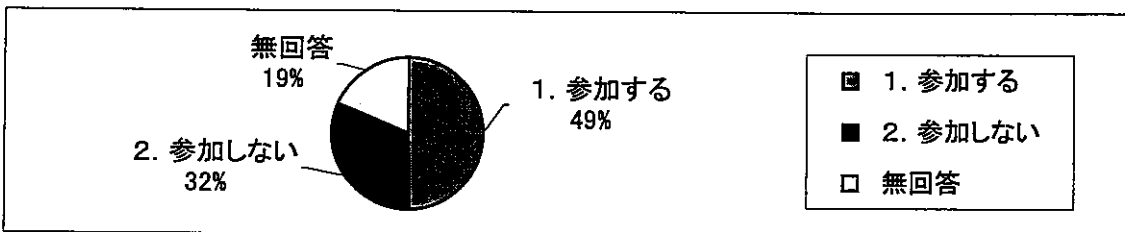
問4 校庭開放を利用しない理由 (複数回答可)



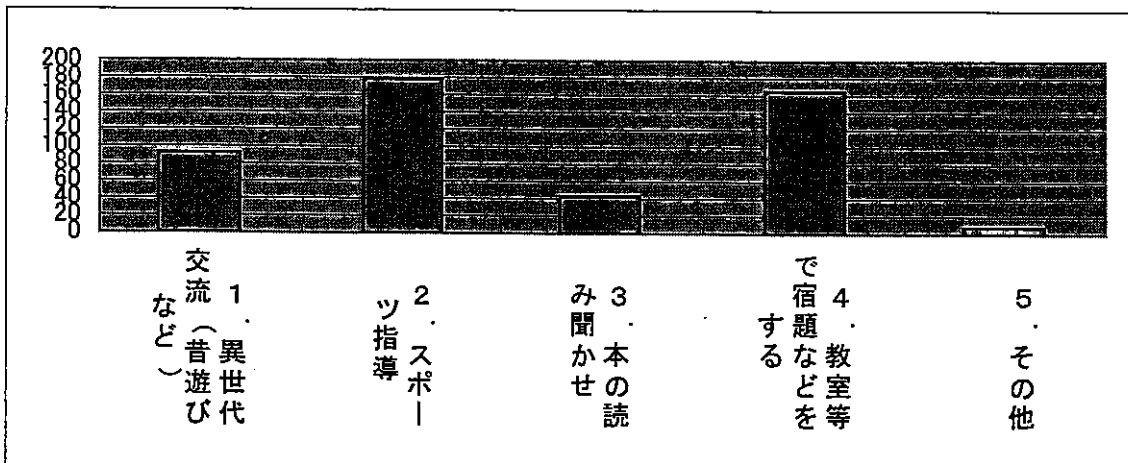
問5: 一旦下校せずに学校に残って参加できるようにすることを望みますか。



問6: 一旦下校せずに参加できるようになれば、校庭開放に参加しますか。



問7 校庭開放以外に放課後の時間を利用してどのような活動があると良いですか。(複数回答可)



問1	学校名：打出浜小学校	児童総数589人	回収率76%	1年	2年	3年	4年	5年	6年	回収枚数 446
問2	学 年：全校集計			83	88	69	54	88	64	

問3 お子様は、放課後に校庭開放を利用したことがありますか。

1. 毎回利用している	0	0	1	0	2	0	合計 3 29 58 160 196
2. 週に1回程度	4	5	7	4	5	4	
3. 月に1～3回程度	5	8	16	8	12	9	
4. あまり利用していない	17	17	29	23	39	35	
5. 全く利用しない	57	58	16	19	30	16	

問4 校庭開放を利用しない理由 ※複数回答

1. 塾や習い事などに行っている	25	33	30	18	42	33	合計 181 236 85 7 14
2. 公園などで遊んでいる	47	42	34	33	52	28	
3. 下校した後また学校に行かせようとは思わない	19	18	10	9	15	14	
4. 校庭開放に参加させるつもりがない	1	3	0	1	2	0	
5. その他：家が遠いから・学童保育	6	5	3	0	0	0	

問5 一旦下校せず学校に残って参加できるようにすることを、望みますか。

1. 望む	40	47	36	26	51	37	合計 237 150 59
2. 望まない	33	25	23	20	30	19	
無回答	10	16	10	8	7	8	

問6 一旦下校せずに参加できるようになれば、校庭開放に参加しますか。

1. 参加する	46	52	44	31	53	40	合計 266 82 101
2. 参加しない	20	16	10	13	15	8	
無回答	20	20	15	10	20	16	

問7 校庭開放以外に放課後の時間を利用してどのような活動があると良いですか。
※複数回答

1. 異世代交流(昔遊びなど)	30	33	22	19	21	17	合計 142 319 55 286 13
2. スポーツ指導	60	54	59	40	59	47	
3. 本の読み聞かせ	11	14	15	7	5	3	
4. 教室等で宿題などをやる	51	57	49	40	50	39	
5. その他	2	3	1	1	4	2	
1年:日本文化の指導(茶道・日舞など), ボール遊び, 花や生き物の世話など子どもたちの自主的な活動							
2年:図書館開放, 学習教室等, 習い事・外部の業者によるレッスン							
3年:授業応用							
4年:図書室開放							
5年:音楽クラブ, 子ども同士をつないでくれるリーダーがいると良い, 習い事, 業者によるレッスン, 補習, 別にいらぬ							
6年:校庭開放で充分, 図書館開放							

問8 お気付きの点

1年

- ・下校時の安全の確保(学校までが遠い)
- ・学童保育のなくなる4年生以降のことが不安なので, 問7の活動が出来ると助かる。
- ・一旦下校せずそのまま遊ぶようになれば, 他の寄り道をするきっかけになりそうなのでやめて欲しい。
- ・問7の活動が充実するならば, 問5は1. 望むになります。

- ・「今日は残る」という連絡手段があれば、問5は1. 望むになります。
- ・宿題をしてから遊ぶという指導をして欲しい。

2年

- ・校庭開放そのものをよく知らない。
- ・一旦下校せずに遊ぶとなると、そのまま学校以外のところへ行きかねない。親への連絡の不安。
- ・下校時の安全の確保
- ・問4や問7などは特に子どもたちに意見を聞くべきではないか。
- ・友達と学校までの距離が違うので、友達のいない学校よりも公園で遊んでいる。
- ・4年で学童保育がなくなる心配。
- ・他市では英語教室や習い事を教室を使って、学習教室を行っているので参考にしては？
- ・責任問題になることを恐れて子どもたちが成長する機械を奪わないで欲しい。

3年

- ・公園ではボールを蹴れないので、校庭開放でのびのびボール遊びが出来たらありがたい。
- ・参加者が増えれば管理人さんの増員が必要。保護者ボランティアの検討。
- ・学校が休みの時にも校庭開放があれば良い。
- ・大阪府が実施している、学童保育とは別で放課後に居残り出来る環境を検討して欲しい。
- ・一旦下校しなくてもよくなると、習い事があるのに帰ってこない等が心配。
- ・うまく輪に入っていけない子どもも楽しめるようなサポートがあれば参加させたい。

4年

- ・公園はボール遊びが禁止なので、問7のように体を使った放課後遊びに期待。
- ・今、将棋に興味があるので校庭の片隅や空教室で将棋ができると喜ぶ。
- ・外遊びは健康のためにも賛成。せつかくの校庭をもっと利用しないともったいない。
- ・帰宅時の安全の確保
- ・一旦下校せずに参加させると体調の良し悪しがわかりにくい。

5年

- ・放課後を“習い事タイム”にすれば4年生以降も学童のように利用できる。
- ・他県では凧を作って凧揚げとか、流しそうめんをしたりすると聞く。
- ・子どもの行動が把握できる状態での参加なら安心。本人の居場所がわからないのは困る。
- ・一旦下校せず問7のようなことがあると良い。
- ・家が遠い子には校庭開放は不利なので無意味。
- ・曜日を決めて週1~2回、野球やサッカーなど球技自由の日を作って欲しい。
- ・利用する子どもの意見も聞いて欲しい。
- ・4年生以上は一旦下校せず遊んでよい、とかの取決めをして残ると良い。

6年

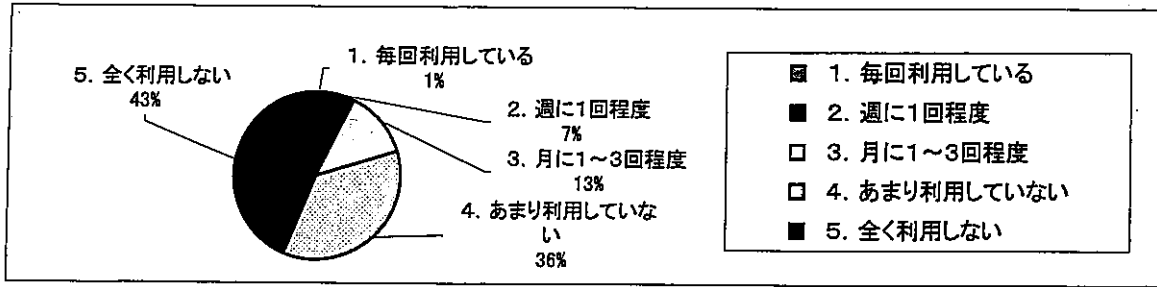
- ・これまでの校庭開放に対する感謝
- ・東京都足立区の放課後教室がよかった。しかし立ち上げまでの各方面との話し合いが大変だった。
- ・公園でのボール遊びが禁止されているので、校庭開放はありがたい。一旦下校せずにすれば尚良い。
- ・一旦下校せずに参加するのは5・6年から試して見てはどうか。
- ・安全のため管理人さんを増やす必要があるなら、保護者ボランティアを募集してはどうか？

＜芦屋市立打出浜小学校＞

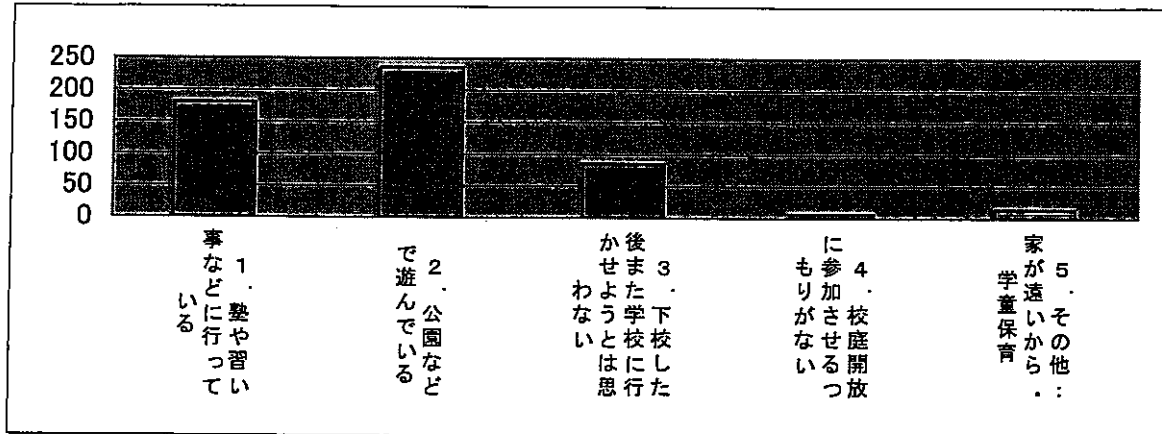
校庭開放(放課後子どもプラン事業)に関するアンケート結果

実施時期	平成24年6月
配布数(児童数)	589人
回収枚数	446枚
回答率	76%

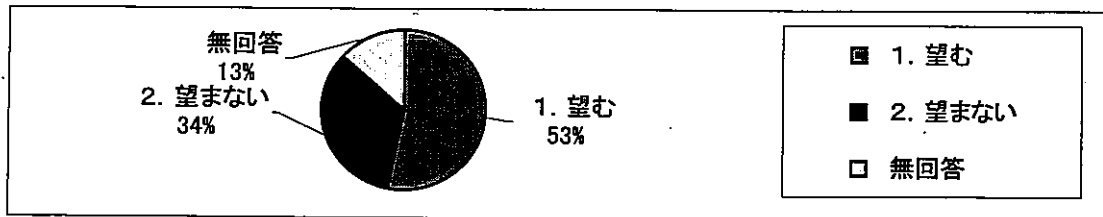
問3 お子様は、放課後に校庭開放を利用したことがありますか？



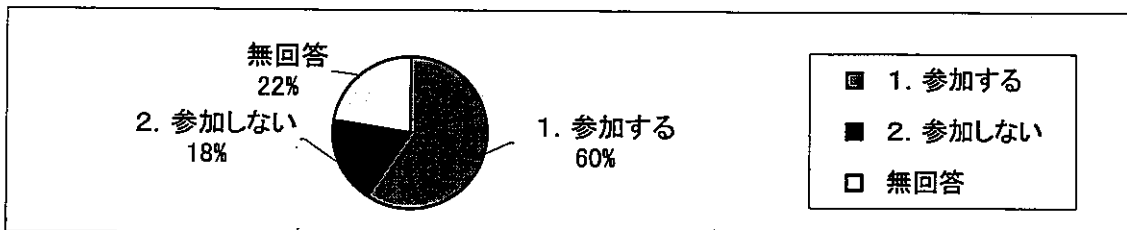
問4 校庭開放を利用しない理由 (複数回答可)



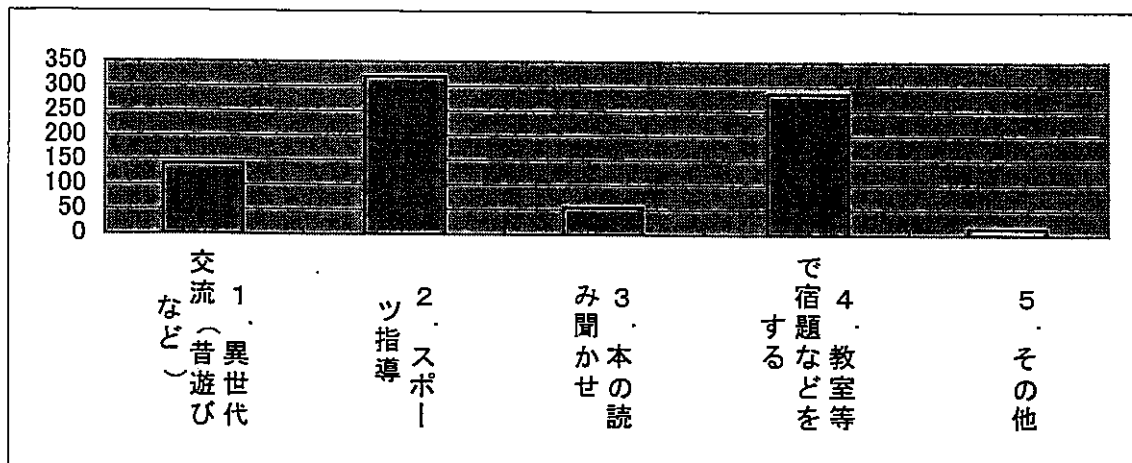
問5: 一旦下校せずに学校に残って参加できるようにすることを望みますか。



問6: 一旦下校せずに参加できるようになれば、校庭開放に参加しますか。



問7 校庭開放以外に放課後の時間を利用してどのような活動があると良いですか。(複数回答可)



問1 学校名：浜風小学校	全校児童346人 回収率68%	1年	2年	3年	4年	5年	6年	回収枚数 237
問2 学年：全校集計		48	35	41	51	25	37	

問3 お子様は、放課後に校庭開放を利用したことがありますか。

1. 毎回利用している	3	0	2	2	7	4	合計 18
2. 週に1回程度	14	11	10	13	6	9	63
3. 月に1～3回程度	4	6	10	13	1	5	39
4. あまり利用していない	12	11	16	14	10	14	77
5. 全く利用しない	15	7	3	9	1	5	40

問4 校庭開放を利用しない理由 ※複数回答

1. 塾や習い事などに行っている	19	15	11	17	11	16	合計 89
2. 公園などで遊んでいる	25	15	18	21	7	12	98
3. 下校した後また学校に行かせようとは思わない	4	1	2	2	1	1	11
4. 校庭開放に参加させるつもりがない	1	1	1	1	1	2	7
5. その他：学童保育・他	4	3	4	0	1	0	12

問5 一旦下校せず学校に残って参加できるようにすることを、望みますか。

1. 望む	15	10	14	7	7	5	合計 58
2. 望まない	25	20	21	37	15	24	142
無回答	8	5	6	7	3	8	37

問6 一旦下校せずに参加できるようになれば、校庭開放に参加しますか。

1. 参加する	21	12	21	15	11	13	合計 93
2. 参加しない	10	12	6	17	6	10	61
無回答	17	11	14	19	8	14	83

問7 校庭開放以外に放課後の時間を利用してどのような活動があると良いですか。
※複数回答

1. 異世代交流(昔遊びなど)	19	16	14	18	5	12	合計 84
2. スポーツ指導	38	28	35	34	13	28	176
3. 本の読み聞かせ	8	9	6	11	2	3	39
4. 教室等で宿題などをする	22	18	19	21	15	20	115
5. その他	3	3	3	4	3	1	17

1年:今のままでよい、姉妹で終了時間が違うので一緒に下校できて待てるように

2年:工作・読書、雨天でも利用したいと思えるもの、みんなで大切なこと、補習

3年:グループ遊び(おにごっこ等)、英会話、補習

4年:子どもだけで遊ぶ時間、子どもと先生でスポーツ、世代を問わずできるクラブ活動

5年:図書室・音楽室・工作室の利用、英会話や補習、科学・化学の不思議体験、

6年:図書館開放

問8 お気付きの点

1年

- ・管理人の人がいないと聞く。誰がされているのでしょうか？
- ・浜風小のように通学範囲なら一旦帰るのは子どものつとめ。
- ・一旦下校せずということならもっと人の出入りをちゃんと管理して欲しい。「学びクラブ」に類するならOK
- ・ケガしたときの保険は大丈夫か。

- ・親の時代は一旦下校しないのが普通だった。一旦下校しない方向でお願いします。
- ・公園は一人で行かせるのに抵抗があるが、学校は不審者のリスクが少ないのでありがたい。

2年

- ・校庭開放＝外遊びのイメージだったので、教室等で宿題ができるなら補習を兼ねた内容にして欲しい。
- ・毎日ではなく、週1~2回決まった日に一旦下校せず参加できれば良い。
- ・はじめとして一旦下校させることも大事。
- ・自他共に充分安全に配慮された環境を整えたい。
- ・低学年ということもあり、一旦下校させたほうが良い。一旦下校しないとどこで何をしているかわからなくなる。
- ・小学生ではない中学生以上の人が開放時間に遊んでいることがあり、一緒にあそぶのは遊び方が違うので心配。
- ・今は大人の見守り無く遊んでいるが、一旦下校しないなら見守りが欲しい。皆で遊べるよう大人が企画するなど。

3年

- ・異世代交流は特に賛成。教育委員会でボランティアの簡単な研修をして、各学校に送り出すシステムを築く。
- ・一旦家に帰ってからでも遊べる校区なので、そのまま遊んで良いとなると勝手に残ったりで混乱する。
- ・公園ではボール遊びができないので、校庭で野球やサッカーができて良いとおもう。平日のスポーツ指導があれば尚良い。
- ・学校の宿題だけは済ませて遊んで欲しいので、教室等で宿題ができると助かる。
- ・校庭開放はありがたい。これからも今のままで継続してもらいたい。
- ・学童保育指導員が校庭開放についての理解が足りないことがあるので、周知徹底して欲しい。
- ・春・夏・冬休みでも子どもが学校になじめる企画が欲しい。
- ・不審者侵入のセキュリティの徹底。トイレ利用も気になる。

4年

- ・まずは安全を確保して、校庭開放をこれからも実施して欲しい。
- ・潮見小のように先生からの補習を兼ねた内容のものがあれば良い。
- ・スポーツはコミスク、異世代交流や宿題は学びクラブでやっているのだから、校庭開放では自由に遊ぶことだけで良い。
- ・学校にいたることがわかるメールが送付されるなら良いが、どこにいるかわからないと事件に巻き込まれても気づかない。
- ・問7は必要ない。ワクにはめずに子どもたちが自分で考え工夫して遊ぶことも大事。
- ・管理人がどこにいるのかわからない。
- ・一旦下校しなければ普段「寄り道はダメ。」と言っているのに矛盾するので考慮が必要。
- ・ボール遊びを校庭でできるのがすごく良いと思う。

5年

- ・春夏冬休みでも学校に馴染めるような企画があれば嬉しい。
- ・学校から家が近いので、今のまま一旦帰ってだれとどこで遊ぶか確認出来たほうが良い。
- ・しっかり家の人と約束・取決めをしていないと、ついつられて遊んでしまうこともある。
- ・小学生以外の利用者には記名してもらいルールを決めてトラブルが発生しないように進めて欲しい。
- ・図書室など地域の人にもカードを作り、利用できたら良い。

6年

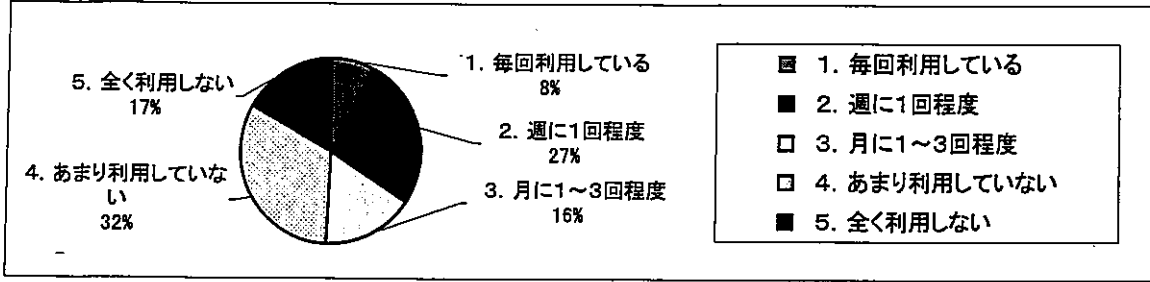
- ・子どもが1年の時にはまなびクラブが毎週あって、読み聞かせも異世代交流も活発だった。校庭開放も当たり前だと思っていた。
- ・校庭開放の存在を知らない人も多くいると思う。
- ・スポーツはコミスクでやっているのだから、校庭開放のときは自由に遊ぶことだけを望む。
- ・浜風校区は一旦下校してからでも大丈夫な区域なので、今までどおりのほうが親子とも混乱しなくて良い。
- ・大阪のよう5時まで学校が責任をもって見てくださると良い。
- ・参加する子ども、しない子どもの下校字の見守りが必要になってくる。
- ・一旦下校しないと、どこかで寄り道をしていてもわからなくなる。

＜芦屋市立浜風小学校＞

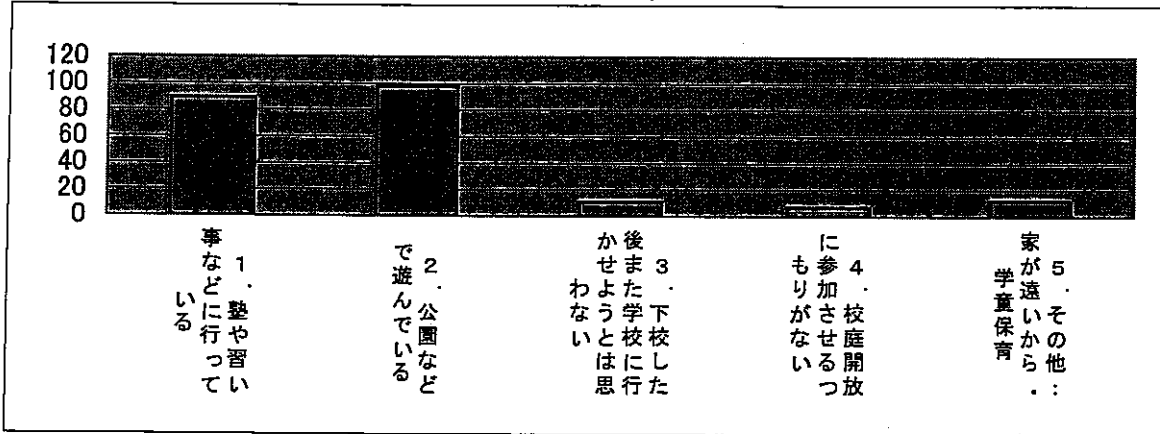
校庭開放(放課後子どもプラン事業)に関するアンケート結果

実施時期	平成24年6月
配布数(児童数)	346人
回収枚数	237枚
回答率	69%

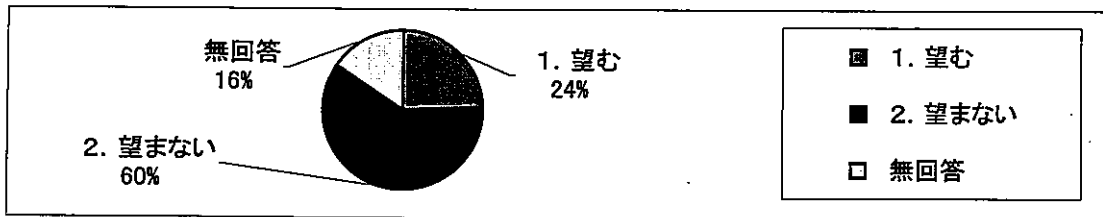
問3 お子様は、放課後に校庭開放を利用したことがありますか？



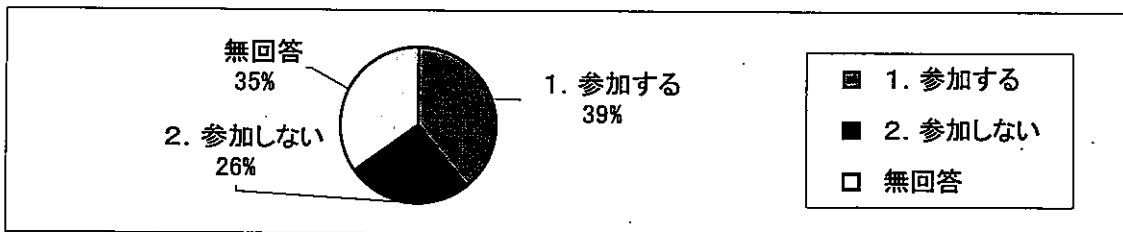
問4 校庭開放を利用しない理由 (複数回答可)



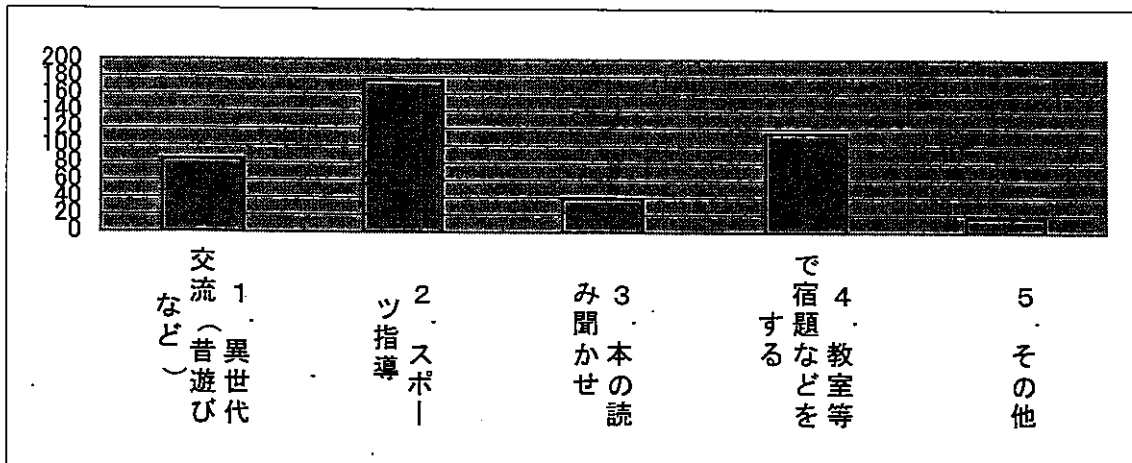
問5: 一旦下校せずに学校に残って参加できるようにすることを望みますか。



問6: 一旦下校せずに参加できるようになれば、校庭開放に参加しますか。



問7 校庭開放以外に放課後の時間を利用してどのような活動があると良いですか。(複数回答可)

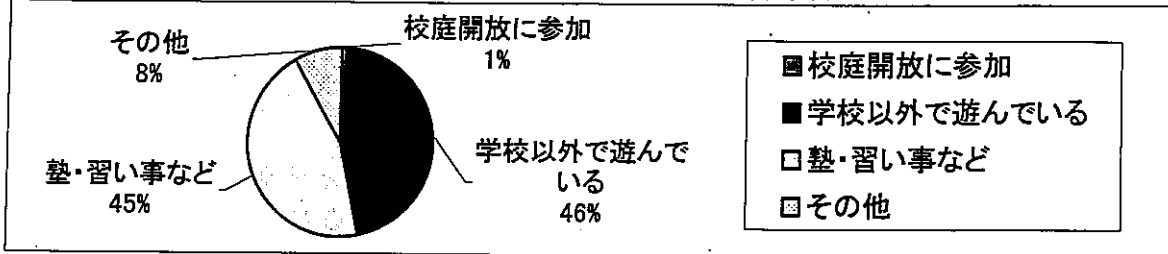


＜芦屋市立岩園小学校＞

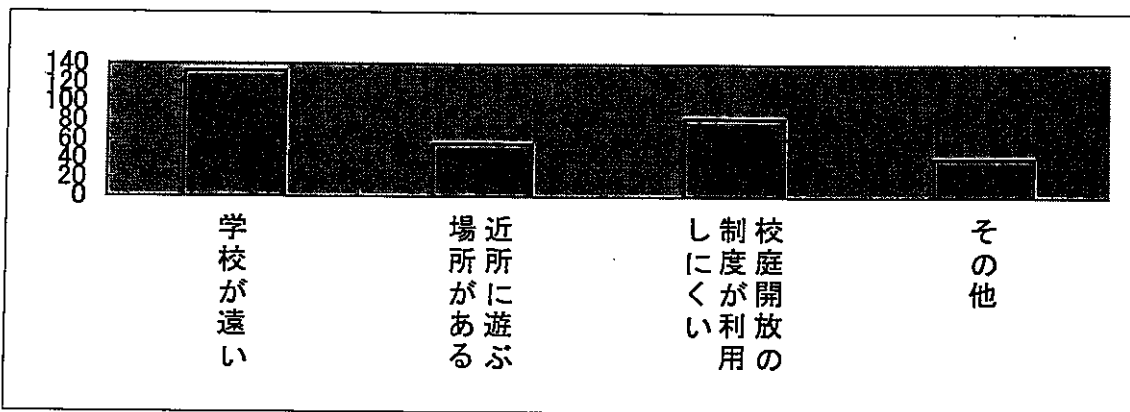
校庭開放(放課後子どもプラン事業)に関するアンケート結果

実施時期	平成23年11月	* 岩園小学校は、他の小学校より早くアンケートを実施
配布数(児童数)	706人	
回収枚数	305枚	
回答率	43%	

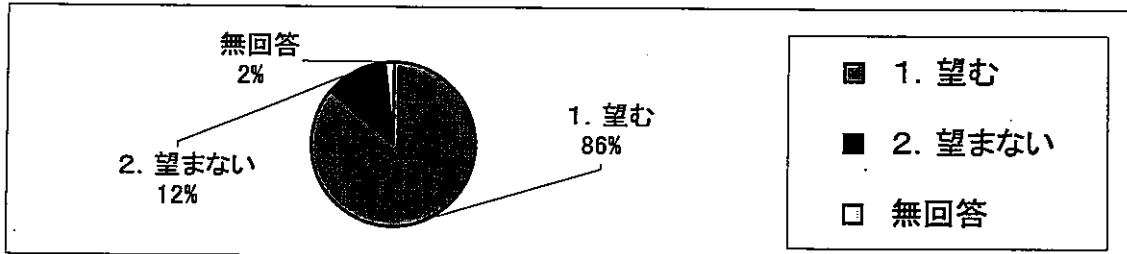
問3 放課後や土曜日に何をしておこなっていますか。(重複回答あり)



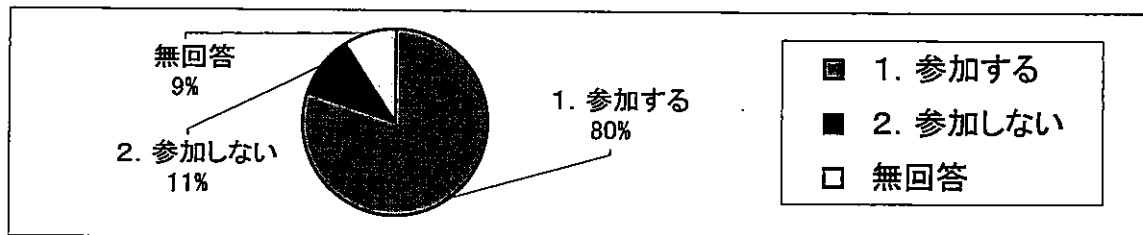
問4 放課後、学校に遊びに来ない理由として考えられることについて教えてください(複数回答可)



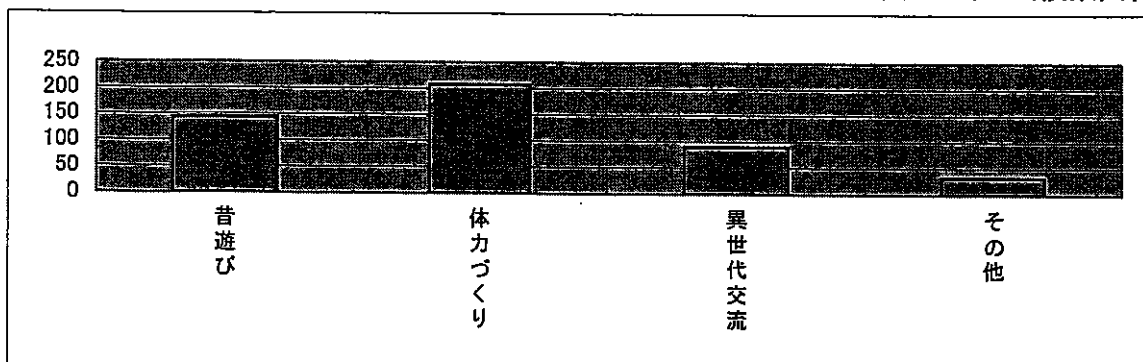
問5 一旦下校せずに学校に残って参加できるようにすることを望みますか。



問6 一旦下校せずに参加できるようになれば、校庭開放に参加しますか。



問7 校庭開放以外に放課後の時間を利用してどのような活動があると良いですか(複数回答可)



校庭開放(放課後こどもプラン事業)に関するアンケート集計

問1 現在、お子様は放課後や土曜日に何をしておこなっていますか。重複回答あり

1. 校庭開放に参加4 2. 遊んでいる(学校以外)228 3. 塾・習い事など225

4. その他41(学童保育、コミスク活動、野球・サッカーの練習、家族で出かける、子どもセンターのジュニアクラブ、家庭で過ごす、家に帰ってきて友人と遊ぶ、土曜日にも家に居る、土曜日は青少年センターで柔道、岩園公園、祖父母の家、図書館、休憩、買い物など、宿題。)

問2 問1で2を選ばれた方にお尋ねします。放課後、学校に遊びに来ない理由として考えられることについて教えてください。重複回答あり

1. 学校が遠い133

2. 近所に遊ぶ場所がある56(野球がしたいため、他の児童に迷惑にならないように球技可能な遊び場へ行っているようです。)

3. 校庭開放の制度が利用しにくい83

4. その他41*時間がない。*少し遠い、帰りが心配。*習い事。*カードゲーム。*家でTVやゲーム。*曜日が決まっているから習い事とかぶってしまう。*親と一緒に行かないと小さいので心配。

*家の中で遊ぶのが好き。そのときの友達の誘いによるもの。*特に理由ナシ

*遊びに行っても仲の良い友達がいなくてつまらないし、友達と約束した日は家で遊ぶことが多い。

*一旦帰ってからだと遠すぎるし時間が短すぎる。*友達と家で遊ぶから。*友達の家へ行く。

*昔ほど安全でない。他に習い事の盛んな地域なので。*校庭開放の存在を忘れがち。

*身体上の理由。家族で出かけるなど。*一旦下校してしまうと学校よりも近い場所で遊んでいる。

*親がついていくには、近所の公園の方が近くて良い。*いつ開放日なのか分からない。

*家で遊んだり勉強している。*習い事があるので時間が合わない。

*コミスク使用日等があるので行っても遊べないのがっかりする。*土曜日の校庭開放自体知らなかった。

*習い事の前の時間を遊ぶ時間にしているので、学校まで行かずに近くで遊んだほうがたくさん遊べる。

*一度帰宅し友人宅へ自転車で行き、校庭開放へ向かったのだが、追い帰された。

*ボール遊びができないから。

問3 校庭開放について、一旦下校せずそのまま学校に残って参加できるようにすることを、保護者として望みますか。重複回答あり

1. 望む246 2. 望まない35 3. その他28 無回答5

*どちらでも良い。*どちらとも言えない。*わからない。

*4年生以降学童保育が実現しないならば、そのまま遊べると良い。

*校庭開放に参加していることがわかるなら安心するのだが。

*なぜ、一旦下校しないといけないのか、理由が知りたい。

*利用する予定がないのでなんとも言えない。

*子ども次第、友達がいないと嫌らしい。

*一旦下校してから…原則になっているという意図が良くわからない。

*望んではいませんが子どもが喜ぶます。

*学校に居ることがわかれば安心ですが…。

*現在色々な事件があり安心して遊ばせる場所が少ない。

*安全面がきちんと配慮されているなら、することもあるかもしれない。

*時間的に余裕がなく難しい。

問4 一旦下校せずに参加できるようになれば、校庭開放に参加すると思いますか。

1. すると思う243 *距離の問題で参加できなかった子どもたちが参加でき、活気がでてくると思います。

2. しないと思う33 **3. その他**28

*今はわからない。*どちらとも言えない。*新制度次第。*誘われれば参加するらしい。

*子どもは参加すると思うが親としては居場所・安全面が不明なので賛成できない。

*学年が上がれば参加すると思う。

*友達と約束をすれば、年に何回かは参加するかもしれない。

*身体上の制限がなければ参加すると思う。

*学童保育が終わった4年生になれば参加すると思う。*高学年になれば。

*30分から1時間くらいならば望みます。

問5 一旦下校せずに参加する場合、保護者として、どのような点に気をつけて事業を行うべきだと思いますか。

別紙

問6 校庭開放以外に放課後の時間を利用してどのような活動があると良いですか。重複回答あり

1. 昔遊び143 **2. 体力づくり**207 *コミスクのようなスポーツクラブでも良い。*50m走や鉄棒などの苦手の克服。 **3. 異世代交流**90 無回答25

4. その他33 *昔遊びの中で体力づくりできるのがベスト。*特に必要なし。*各種スポーツ教室。

*郷土に伝わる話を読み、その話を通じその頃の服装や建物を調べて絵や工作で表現したり、衣服を作って劇をしたるするサークル。*ボール遊びを思いっきりさせたい。*夏休みラジオ体操。

*茶道・華道を子どもでもわかりやすく教えてもらえるサークル。*コミスクなど。*お友達と宿題など。

*家でしなさいと言ってもまったくしないので勉強を見て欲しい。*イベント

*わからなかった勉強を先生に教わること。*学校にそろばんや書道教室があればよい。

*英語やプール等の課外授業。*体操教室・ボール遊び・グループ遊び・集団遊び・室内の将棋などのゲーム。

*放課後の学童保育のような預かり。*友達とのびのび遊ぶ場があるだけで十分です。

*時間のある方に宿題など勉強をみてもらう。*工作・お絵かき・行事食を作ったりの季節行事。

*カルチャースクール的なこと。*なわとび・逆上がり等の指導。

*バスケ・野球・サッカーなどそのときの気分で参加できるシステムを望みます。

*シルバー人材派遣の方との交流。ドッジボール・サッカー・テニス等テーマのある開放。

*異文化交流。*家が遠い友達同志でも放課後遊びの時間を少しでも共有できるのが良いですね。一旦家に帰ると家が遠い友達同志はなかなか気軽に会えませんので。

*図書館の利用。*学習塾の人に来てもらったりするのも良い。*特に望んでいない。

*町の寺子屋のような、皆で宿題が出来る空間やサポート。

*お金持参させることに賛否あるかもしれませんが、駄菓子屋体験。

問7 当事業を実施するに当たって課題となることとお気付きの点がありましたらご記入くださいますようお願いいたします。

別紙

問5の意見まとめ

問5 一旦下校せずに参加する場合、保護者として、どのような点に気をつけて事業を行うべきだと思いますか。

- ・教室で遊ばず、場所を限定する。
- ・宿題を学校で済ましてから遊ぶ。
- ・帰宅するために学校を出たのかどうかわかるように①記帳する。②親子で帰宅時間の確認をする。③低学年の時は高学年やお友達と帰る。親が迎えに行くなどルール作りが必要。
- ・事前にその日校庭開放を利用する旨を担当の先生に連絡し、当日は利用する人の名簿を作り参加する子どもの把握をする。利用した時間の把握もしていただくと助かります。
- ・体調の悪い人など人に迷惑をかける可能性のある場合は遊ばせない。
- ・帰り道の安全。
- ・子ども・学校・保護者の3者間に必ず連絡があること。帰宅時間の確認。
- ・残っている生徒の把握。不審者が入らないように門番を付ける。
- ・一年生のための帰り道の安全面。先生の立会いがあれば安心して参加させていただきたい。
- ・下校時間をあらかじめ子どもと決めておく。
- ・事前に親子で確認仕合い、帰る時間もはっきりさせること。(帰宅前の連絡等)
- ・公衆電話から連絡してもらいたい。
- ・本人が放課後ということを自覚して行動できるように家庭教育を心がける。とはいえ、まだ小学生なので本人から様子をしっかりと聞く。
- ・帰りは一人で帰らず、同じ方向のお友達と一緒に帰ること。
- ・ランドセルを背負って帰るため、一人で歩いていると危ない。また夕方は車も多い時間なのでなるべく沢山の人数で帰る指導と、高学年が低学年と一緒に下校するなど。
- ・保護者にその日校庭開放に行くことを、きちんと報告済みかを確認してから遊ばせてもらいたいです。
- ・事前に参加することを保護者が了承していること。
- ・たとえば、年度ごとの登録制度にしたり、参加する場合は必ず名前を記入するなど、きちんとしたルールづくりが必要。
- ・遊んだあと、一緒に帰るお友達がいるかどうかなど、集団下校している低学年は特に注意しなければならない。
- ・本当に校庭開放に参加しているか確認したい。
- ・今日は遊ぶのかどうかを朝話し合ってから登校させる。
- ・下校時間になっても帰宅しないと、とても心配なので、参加する場合は前日までに親のサインをするなどして欲しい。
- ・ランドセル等の管理
- ・連絡帳などで先生宛に集団下校せず、校庭開放に参加する旨を連絡し、集団下校とは別のグループで放課後集まるようにする。帰りはできるだけ保護者が迎えに行くか、友達同士かたまって帰る。
- ・下校するのか残るのかを学校に伝える。また、子どもも保護者に伝える。
- ・連絡帳などの参加申込みの徹底(保護者の認知)緊急連絡先の徹底(ケガの場合)下校時のお迎えの徹底(低学年)
- ・あぶない遊び方をしないように話をしておく。下校時に、ふざけず帰るように話をしておく。
- ・親からの了解を受けているか否か(連絡帳で)の確認。遊べる範囲(運動場だけとか)のお知らせ。
- ・自由に校門を出入りできないような管理。下校時間の厳守。
- ・春・夏期は時間が長く、秋冬期は短くする等、暗くなる時刻を考慮して欲しい。
- ・必ず何時に帰るか前もって約束して、朝行かせる。
- ・一斉下校
- ・子ども同士のもめごとやケガ等がないよう、ある程度の大人の監視が必要ではないかと思います。

- ・開放時間を5時くらいまでにする。下校時もあるべく一人で帰ることがないように仕組み作りをお願いしたい。
- ・最終下校時刻を明確にする。その日に校庭開放に参加するかどうかは、家庭と必ず約束しておく。
- ・学校の方で時間を決めてくれれば安心です。
- ・子どもが帰宅するまでは、居場所がわからないのが不安なので、参加する場合は朝学校に行くときに参加意志がはっきりしていないといけないと思う。(親・学校に届ける)帰りはなるべく一人で帰らないでほしい。
- ・今日参加する・しないを子どもとしっかり話し合っておく。(家庭の問題ですが)
- ・一言も無く当日急に遊ぶとなると、まだ1年生なので親としては心配になります。知らせてくれたらいいのですが・・・。
- ・下校時間。子どもはいつまでも遊びたいと思うので声かけして欲しい。忘れ物のチェック。
- ・一旦下校させてからでないか何時に帰るのか心配。高学年ならよいと思いますが。
- ・1年生の場合、時間を5時までなど決めて、責任をもって迎えに行く。安全面など、何かあった時のために子どもが連絡するところを知っておく。
- ・参加するしないを子どもときちんと話しておく。突然参加することがないようにするべきだと思います。
- ・暗くなる前に必ず下校すること。また校庭に子どもが残っていないか管理人が確認すること。
- ・本当は予定があるのに残って遊んでしまっているなんてことが起きてくると思いますが、それも私は子どもらしい一面かと。心配する親が学校に連絡してきた場合、呼び出しなどしていただくとありがたいです。
- ・遊んで帰ることを伝えて登校する。時間を決めて(下校していない子どもは4時半まで等)を決めて参加する。
- ・保護者に「参加している。」との一報が欲しいので、参加しそうな子には親からテレホンカードを持たせ公衆電話を設置して連絡させる。
- ・子どもがその日に学校に残るのかどうかを登校前に決めさせることで帰宅時間があいまいにならないように気をつけることが必要。
- ・親子でしっかり下校時間と下校ルートを約束しておくこと。
- ・下校時間になっても帰宅しないと、とても心配になるので参加する場合は前日までに決めておくなどして欲しい。
- ・連絡帳に残る旨を記入してあれば良いか、そうでない場合は必ず一度帰宅するようにする。
- ・その日「参加する。」という保護者の承諾を確認する仕組みが必要。(それがなければ参加できない。)
- ・校庭に居るのかどうか？何時に下校するのか？緊急時に連絡が取れること。
- ・前日に子どもが親に伝えておく。
- ・前日までに参加の申し込み(保護者のサインを必要とする。)をしている子だけ遊んで良いことにする。(保護者が子どもの居場所を確実に把握できるように)
- ・下校せずの場合は保護者と担任の欄に連絡帳をちゃんと書いて欲しい。
- ・校庭開放時間やルールを把握しておく。
- ・急に決めるのではなく当日連絡帳に記入して親が分かるようにする。
- ・校庭で遊ぶ日は連絡ノートに必ず書くこと。
- ・担任の先生または専用のBOXに校庭開放に居残ることを保護者が許可していることを知らせる。
- ・下校時は集団グループ下校をする。
- ・校庭開放を利用する日は必ず家庭でも把握しておく。校庭開放後、すみやかな下校。名簿記入を必ずさせる。
- ・昔は下校せずが普通でしたので、特に気をつける事もないかと思います。冬はあまり暗くならないうちに帰宅できればよいと思います。
- ・キケンな遊びをしている場合は注意してあげて欲しいです。
- ・下校せずに参加する日は前日から決めておいて保護者の確認のとれている子のみにする。当日いきなりの参加はしないとの決まりを作った方がよいと思います。
- ・携帯電話などで親への連絡が好ましいが、携帯を持つことが不可であれば、学校で記名をお願いしたい。
- ・暗くなる前に帰宅できるように学校終業時間から、校庭開放していただくとうれしいです。

- ・親の了解のうえで、参加しているかのチェック。
- ・登校する時には、必ず子どもがグラウンドに残る旨を確認することが大事だと思います。
- ・保護者と子どもが参加することへの相互確認と保護者の了解があることを何らかの形で安全管理人に伝えられるようにすること。
- ・常に大人の目が必要になると思う。
- ・帰宅の際の確認等や安全管理。
- ・安全・安心して校庭開放できるよう、監視員を設置したり、参加した子どもの親が監視するなど協力する。
- ・完全下校時刻の徹底。
- ・連絡ノートに記入して、帰宅する時間を決めておく。
- ・連絡ノートで担任の先生に連絡する。下校は集団下校(コース別に)または、親の迎え。
- ・各家庭で当日の参加の有無。参加の場合帰宅時刻(予定)をきちんと把握する必要がある。
- ・「預けている」という気持ちを持たないように。
- ・あらかじめ校庭開放に参加する旨を連絡帳で担任の先生に連絡したうえで参加すること。下校時なるべく一人になることのないようお友達と参加するか保護者が迎えに行くなど、子供と決めておくことを徹底できれば、安全に利用できる。
- ・連絡帳にて学校に残る旨を必ず確認し、残って遊ぶ。後は学校に迎えに行くということ。安全であることを保護者が責任を持つこと。
- ・子どもたちから保護者に伝え、学校にも伝える。
- ・学校と親が、当日きっちりと連絡をいれることにより、子どもが勝手に学校に残らないようにすること。
- ・宮川小では下校するとき(門を通ると?)親にメールでお知らせが来ると聞きました。そのような方法も取り入れていけば校庭開放に参加しても、子どもの下校に合わせてお迎えや見守りがしやすくなるのではないかと思います。
- ・帰宅時間を守らせること。余計なものを学校へ持っていないこと(ゲームなど)
- ・低学年は自分自身の時間管理が難しいため、校庭開放に残っている児童の把握。
- ・連絡帳で参加確認。
- ・生徒同士のもめ事。
- ・参加する児童の名前や学年を把握する。
- ・連絡帳にて校庭開放利用を記入。時間厳守でお迎え。
- ・下校せずそのまま校庭開放に参加する場合には、子どもと保護者の間できちんと「今日は学校で遊ぶ。」という確認をしておく事が大切だと思います。
- ・一旦下校せずに参加する場合、子どもの判断だけだと不安なので、カード等を作り、朝、親がそのカードに判を押し、そのカードを持参した子のみ許可するようにした方が良い。
- ・使用する際、名簿などに利用時児童に名前を記入させ、退出する時も記入チェックさせる等、あとは児童と保護者の責任において使用させていただくというのでよろしいのではないのでしょうか。
- ・前日、校庭開放を望むかどうかなどわかるわけがない。もっと自由に、そのとき遊びたいければ低学年の頃から自由に遊ばせて欲しい。
- ・問3でも書いたように親から学校側に残ることをはっきりと伝えるべき。時間も何時までと明確にするべき。
- ・親が下校せず参加する子どもを知っていて、承知しているかどうかを確認できるかどうか。
- ・帰りが一人になってしまう可能性があるので安全面で心配。
- ・外部者が入ってこないか、学校側で注意して見ていただけると安心します。
- ・先生との連絡帳でのやりとり、下校するとき子どもが家に電話するなど。
- ・集団下校が出来ないので、低学年の子どもをどのように下校させるのか心配です。
- ・親が連絡帳などで校庭開放に参加する旨、係りの方に知らせる必要がある。親の許可を確認して参加させる。

- ・わが子の参加・不参加を朝、確認。
- ・暗くならないうちに帰宅できるよう声かけしていただけるとありがたい。学童では冬場でも 17:00 まで預かって欲しいと希望する保護者が多いのに、帰り道の安全確保のためという理由で 16:30 に帰される。
- ・子どもに必ず校庭開放に参加するかしないかを親子で確認をとる！
- ・校庭開放に参加させることを連絡帳に書く。
- ・宿題をしてから参加が原則(校舎の教室の一部を開放してほしい)。子どもの安全面。
- ・参加しているのかしていないのかが、わかるようにしておく。
- ・帰る時間。
- ・連絡帳での参加を伝えること。
- ・当日連絡帳に保護者が校庭開放に参加する旨を必ず記載する。子どもも意思による突然参加は決して認めないようルールを作る。
- ・ランドセル等の荷物の保管場所。クラス・教室に放課後子どもが入り出すのはいたずらが心配。時間がわかるようチャイムを鳴らすなど。
- ・下校時間がバラバラだと安心して参加させられないので、4時半なら4時半と決まっていると安心です。連絡帳での確認の徹底。
- ・下校が少人数となるので事故や不審者等に気をつけて行って欲しい。
- ・帰宅時間が遅くなると冬は暗くなるのが早いので一緒に帰るお友達がいるかどうか心配。
- ・やはり安全面が気になります。
- ・名簿と連絡帳のチェックと管理人の拡充。
- ・事前に参加する旨を申請してからの参加が望ましい。子どもだけの判断で当日参加できるような状態では困る。
- ・低学年の場合は帰りに必ず迎えに行く。
- ・親子間で校庭開放に出ていることを確認して利用する。子どもの意思だけで突然出るのは避ける。
- ・開放中(遊んでいる最中)のケガ、帰宅途中の事故のないような見守り方、帰り方。
- ・まだ子どもが校庭開放を利用した経験がないため、子どもたちの遊びの様子がわからないのですが、利用する保護者からの確認印(用紙等へのサイン)が必要になると思います。
- ・守られた時間内に帰ること。友達と一緒に帰る、下校せずに参加することを担任に伝える。
- ・安全面、特に不審者の侵入にはこの時代最新の注意が必要だと思います。
- ・子ども自身にも下校時の自己責任について説明すること。
- ・朝、帰宅時間を親子で十分に確認し、帰宅時に時間・名前を記帳してから帰るなどの工夫が必要だと思います。
- ・連絡帳、または専用ノートに参加する意思表示と帰宅予定時間を記入。帰宅時間は厳守すること。低学年や冬期は保護者が迎えに行くこと。
- ・出席・欠席の確認。帰宅の指導。
- ・子どもがその日勝手に校庭開放で遊んでしまうのではなく、学校・親・子どもが当日の行動をきちんと把握していること。下校時は保護者が迎えに行くこと。
- ・帰宅時間
- ・安全確保、下校時刻の管理。
- ・同じ方向に帰る子どもが居ない場合、送り出した後のフォローをどうするかを考えなくてはならないと思います。
- ・親子で参加有無の確認を徹底する。
- ・参加の希望を連絡帳などに明記し、残ることを知らせるようにする。(保護者の許可→受け入れ側の了承)
- ・ケガ・事故などはすべて参加希望の保護者の責任とする。(残ることをお願いしているので、すべてを含んで残らせるようにする。)
- ・下校ルートが同じ児童と必ず一緒に帰るよう、取り決めるようにして欲しい。

- ・事前に親に校庭開放に参加することを義務づける。
- ・何時に下校するのか、子どもとしっかりと確認しておく。
- ・安全管理人の方がどのような範囲まで関わるのかは存じませんが、児童が参加を始める時に職員さんの手元にある名簿にチェックし、帰宅時もチェックをして帰る。名札もつける。(他学年もいるので)そのような流れで以前の学校では放課後の自由クラブのような形をとっていました。
- ・下校時間を意識させるためにも、時間を知らせる。(放送で30分毎に)
- ・下校時の帰り道をしっかり親子で確認しておくことが大事だと思います。
- ・家の人との意思確認、連絡帳などへの記入がある場合のみ遊べることにする。
- ・残っている児童を集団で帰らす。ポイントにお母さん達が出迎えるのはいかがですか？
- ・名前を記入し参加。(親に連絡済みかを確認欄に○をつける。)
- ・参加したことないので詳しいシステムは知らないが、参加する時、名前を書いて来た時間・帰る時間を記入するようにしたら良いと思う。
- ・“下校せずに参加”は前日もしくは当日の連絡帳で申請した場合のみ許可するようにしないと親が把握されない。
- ・外部からの不審者の侵入が気になるので、その点に気を配って体制を整えてもらいたいと思います。
- ・低学年は保護者が連絡帳などに何時まで校庭開放に参加することを記入する。帰りは誰と帰るのか・保護者がお迎えに来るのかも記入してはどうでしょうか？
- ・安全確保
- ・親の承諾
- ・子どもがいつ学校を出て下校しているかが分からないので心配。
- ・遊ぶ時間を決め、保護者のお迎えが必要だと思います。
- ・①安全管理②下校ルール③責任の所在(親の責任も明確にし、学校・教師に不当な責任が課せられないようにする。)
- ・事前の参加申し込みなど、親が必ずその事実を把握しておくことが必要だと思います。
- ・遊び途中で帰りが遅くなりすぎないように子どもに言ってきかせたり、忘れ物をしないようにさせることに気を付けさせれば良いと思います。
- ・その旨、保護者が連絡を受付けられるように。(遅いと心配なので)
- ・ケガへの対応。
- ・親子のコミュニケーションをしっかりと取り合うこと。
- ・参加する児童の名前や学年を把握する。
- ・保護者への許可無く子どもが学校に残ることがないように連絡帳に記載がなければ参加できないなど、子どもだけの判断で残らないようにして欲しいです。
- ・保護者が承知のうえ、参加しているのかどうかの確認が必要かと思います。
- ・利用者が増えてくるようなら、安全管理人を増員する。帰路の危険なポイントの見守りなど。
- ・本当に学校であそんでいるのか確認が出来るような事があると安心です。
- ・当日の帰宅時間を把握しておく(前日から、子どもと打ち合わせておく。)
- ・荷物の自己責任、ルール厳守。
- ・突然校庭開放に参加するのではなく、前もって必ず親子で参加の旨を確認しておくこと。また、終了時間には必ず全員が下校すること。
- ・登校の時点で校庭開放に参加することを担任の先生に連絡し、下校時の集団下校をスムーズに行えるようにする。
- ・帰宅時間を守ること。
- ・ケガなどないよう学校以外に出ないよう、管理していただきたい。
- ・安全面とケガした時の対応。
- ・参加する日は必ず参加する旨を家庭内で確認しあう。確認していない日はルールとして一旦下校する。下校時はでき

るだけ誰かと一緒に下校する。

- ・連絡帳にて学校に残る旨、必ず連絡すること。帰り(下校)は、必ず保護者が迎えに行くこと。
- ・宿題を教室で済ませてから、というルールを決めて、それを終えてから校庭で遊ばせてもらえたらと思います。親としては校庭で遊ばせてもらった方が安全で安心です！
- ・下校時間があいまいになるので、どのように保護者へ連絡をするか。
- ・子どもが校内に残っていること、いつ下校したかなど、きちんと把握しておいて欲しい。
- ・下校時一人になる場所があれば、低学年のうちは親が迎えに行くなど対策を考える。
- ・携帯電話を持たせる、遅くとも何時までに帰ってくるという約束を子どもとする等の自衛が要ります。何かあっても学校の運営側の問題にする保護者が出ればせっかくの制度改変も、すぐ中止になってしまうので極力保護者は自衛を心がけるべきだと思います。
- ・保護者の同意後(連絡帳などで)の参加。(同意なしでは一旦下校)
- ・学校に残っているのか下校したのかがすぐ分かるようにした方が良くと思う。行方がわからないのが一番心配。
- ・保護者の方が直接学校まで迎えに行くのが下校時一番安全だと思います。
- ・保険(損害)加入者のみとする。または利用者は必ず掛け捨て(何百円か)の保険に入ることにする。不審者が入れないよう、一時間置きに校門を開放する等。
- ・子ども、学校・保護者の3者間に必ず連絡があること。帰宅時間の確認。
- ・校庭開放に参加しているのかどうか、分からないので連絡が欲しい。学校の電話から家へ電話するなどして欲しい。(もちろん100円玉持参します。子どもにかけさせる、帰宅時間も分かるし！)
- ・帰宅時間を把握できないので、下校時にメール配信等のシステムがあると安心できるように思います。
- ・親子で校庭開放するにあたり、しっかりルールを話し合っておく。
- ・子どもが校庭開放に間違いなく参加していること、他の場所へ行かないことを確認し、把握しておくこと。(下校しない場合のみ、保護者のサインなどの用紙を提出する等。)
- ・宿題を済ませてから遊ぶ。ケガをした場合(保健室では、対応できないようなケガ(骨折など)の連絡先を記入させてから遊ぶ。(親の電話番号など)
- ・必ず子どもが校庭開放に参加することを把握している。
- ・遊びに夢中になりすぎて、帰宅時間が守れないのではないかと心配。決められた時間だけ利用できると助かります。
- ・集団下校とはならないので低学年は引き取りをするなど、帰る時の子どもの安全性。
- ・出入口でのチェック。何時に出たのか？を確認できるものがあれば良いかな、と思います。
- ・なるべく集団で帰らせる。
- ・冬期、帰り道が暗くなるので帰路の安全に気をつけるべきと思う。
- ・明るい時間帯に下校するように指導して欲しい。
- ・危険がないように時折見回っていただけるとありがたいです。
- ・参加するかしないかを先生と確実に連絡を取り合うこと、低学年の下校の安全確保をどうするか(学年下校ができないので)
- ・子どもがどこにいるかわからないということが起こらないよう、当日の朝、親子間でしっかりと確認しておくことが必要。また、1年生の間は保護者からの参加承諾確認などのサポートが必要かと思います。
- ・日々の連絡帳での校庭開放への参加連絡をはっきりと行う。この他、年間学期で校庭開放をいつも利用する人は登録するのも良いと思います。
- ・参加する日を子どもと相談して、前日までに決めておく。帰宅する時はなるべく集団で下校する。
- ・校庭開放に参加しているかの出席をとる。下校する時もチェックする。
- ・子どもと親がいつ利用するのかを認識する必要があると思います。(事前に連絡帳に記入しておく等。)
- ・私物は教室に置く等して個々に管理させる。

- ・あらかじめ参加する場合は親からの承認のようなものを提出させ、下校時間がわかっていれば良いと思います。
- ・帰宅時間の確認、少し時間が前後することはあっても大幅に遅れ、どこにおるか連絡が取れないと不安になると思う。
- ・帰宅時間を決めて欲しい。
- ・ケガ等の緊急事態の対応。
- ・カードに記入(保護者印)等で、保護者の了解があることを証明できるようにする。帰りが一人になるかも知れないことを保護者が周知して、保護者の責任で安全を確保する。(迎えに行くなど) 校庭開放中の事故について、学校及び事業者や安全管理人に責任を負わせない。
- ・遊んでいる子どもの名前を把握して欲しい。監督者を常駐して、外部からの侵入者を監視して欲しい。
- ・遊んだ後の下校時の安全。(一人で帰ることになるなら少し心配です。)
- ・親の事前承認を義務づける。
- ・夏は6時、冬は5時に校門を閉めること。その際、保護者が迎えに来るようにする。
- ・カード(連絡帳)に記入し、親も行くことを分かっていること。残っている子との差別をはかるためリボン等で分かり易くすること。
- ・冬は暗くなるのが早いので、早めに帰らせる。
- ・校庭開放の有無の連絡を連絡帳などに記入して明確しておくなど。
- ・参加する日はあらかじめ保護者のサインを提出して、当日に子どものみの意思で参加することのないようにする。
- ・下校時一人で帰らないように必ずお友達が一緒に帰れる時のみ、参加を許すようにする。
- ・人数が増えた場合の安全性。何時まで学校に残るかを必ず親と約束して、それを守ること。
- ・下校時のチェック、安全などが気になります。(帰宅ルートが単独になってしまう場合など)
- ・帰る時間を決めて近所の人たちと一緒に帰るようにする。
- ・連絡帳への記入の徹底。
- ・門の開放とか門で誰か立っておくとか? 出入りの所の管理、名簿とか。
- ・個人下校になるので暗くなる前に終了の声かけを。遊ぶ時は特に何も気にしていない。
- ・保護者の承認を得て残れるようにすること。
- ・居場所確認。帰宅時間の厳守。
- ・4年生以上であれば勝手に遊んで勝手に帰れると思います。終了時間をきっちりお知らせいただければ、あとは各御家庭で注意されることだと思います。
- ・参加するかどうか事前にわかっている時に参加して欲しいです。(参加しているかどうか把握していないと困るので)
- ・帰る時間がきたらすみやかに下校させる。
- ・何かあったときの連絡がスムーズにいくように、安全管理人さん(どんな立場の方が分からないのですが)と先生の連携を確立することだと思います。
- ・子どもがカードをかざすと親の携帯に通過が送信される通信システムのようなものが昇降口などにあれば下校状況がわかり良いと思います。
- ・例えば、すぎのこの集団下校に入ることができるようにするなど、なるべく一人にならない方法をとることができるようにして頂きたいです。
- ・帰り道の安全確保。
- ・帰宅時間及び帰宅通学路を子どもとよく約束しておく。
- ・事前に保護者の了解を得ていることが望ましい。
- ・利用人数が増えてきたら、安全管理人も増員する。帰路の危険なポイントに見守る大人を配置する、など。
- ・見守り

アンケート実施平成23年11月

問7の意見まとめ

問7 当事業を実施するに当たって課題となることでお気付きの点がありましたらご記入 くださいますようお願いいたします。

- ・まだ参加したことがないのでわかりません。
- ・参加する子どもの人数に対して大人の数は何人くらいなのか？(ケガをしたとき)
- ・保護者が自分の子どもが活動に参加していることを認識していることが大事。必ず保護者の申込みと緊急連絡先の明記。
- ・参加するときの注意を保護者がしっかりと子どもに伝えること。
- ・運動会の前に「かけっこ教室」に参加させていただきました。うちの子は3年生ですが(4年生以上の募集ということでしたが)とても楽しかったようです。私も見学させていただきましたが、また同じような機会があれば参加させたいです。
おかげさまでと競争は1位で、とても喜んでいました。同じ学年の保護者の方も「参加すれば良かった。」という声がありました。校庭開放で自由に遊べるのも楽しいと思いますし、運動場を利用した体力づくりの機会もあれば良いと思います。
- ・子どもが校庭開放に参加しているのか、確認できるようにしてほしい。公衆電話を設置するなどして頂ければ帰宅時にも連絡できて良い、のではと思います。
- ・ボール遊びはダメな公園や、狭い公園よりも広い所で遊ばせたいです。
- ・私が子どもの頃、放課後の運動場への出入りは自由でした。地域の人が誰でも入れ、遊べました。現在の子どもの安全を確保する観点からすると、今のような状況で運営することは仕方ないのかも知れません。しかし、赤ちゃんや学校入学前の子ども達やシニア世代の方まで、いろんな人が集い、共に遊ぶことができるようになって欲しいと切に願います。
- ・下校後そのまま校庭開放で遊べるなら嬉しいことですが、問5にも書いたように、帰宅が遅い場合に校庭で遊んでいるからかどうか分からない状態というのは心配なので、その点を検討していただきたいと思います。
- ・芦屋市内の他の公立小では、放課後に有志の体操教室があると伺いました。翠ヶ丘地区では、大きな公園もなくボール遊びやかけっこを校庭以外でできる場所がないので、大勢の子ども達が遊べる場を提供していただけたら、ありがたい。
- ・部外者の出入り。
- ・土曜日などは比較的長い時間があるので、みんなで同じことをする体操の時間、フォークダンスの時間、体力づくりのマラソンの時間など、10時ぐらいから15分~30分程度取り入れると毎週通う子ども達が増えるのでは？と思います。
- ・下校時にどのようにして帰るのか。
- ・子どもの安全(居場所)確認。子ども主動で目的を持って取り組めること。普段交流の少ないシニア世代との交流。
- ・帰宅時間が遅くなり、一人で帰すのは心配。
- ・全国で取り組みがあるので(東京世田谷区など)その経験から学び、よいものを取り入れていただきたいと思います。
- ・予定通りに開放してください。以前(10/8土)に子どもたちだけ、先に行かせたところ門が開いておらず、何人も入れずに学校周辺を行ったり来たりしていました。結局、諦めて帰りましたが遠方から皆で約束して集まったのに残念そうで可愛そうでした。変更があるならば手紙で連絡してください。
- ・以前、校庭開放を利用しようとしたところ、開放日にもかかわらず管理人の方がおられず、利用できなかった。何の連絡(知らせ)もなく開放してもらえないのはどうかと思う。
- ・帰宅時間が遅くなり、一人で帰ってくることになるため、心配。
- ・下校の安全確保。ケガなどした時の対応。
- ・ウチの子どもたちは今は利用していませんが、中学生の息子が小学生の頃、校庭開放をととても楽しみにしていました。そのときによくあった事例は、特に低学年の頃一旦家に帰ると子どもによって家に帰り着く時間がまちまちで、学校で待ち合わせをしたのに相手が来ないと言って約束がうまく成立しなくて結局遊べず帰ってきたりしました。校区が広いのでそのまま学校で遊べると子どもたちも移動時間を遊びにまわせるので喜ぶと思います。ただ、集団下校ができないので下校時の安全面については検討が必要かもしれません。私は低学年のうちは、送って行って又迎えに行ったりしました。その点においても、そのまま遊べると一回送迎が減るので親の負担も減るので助かると思います。せっかく管理

人の方も来てくださっているのです、もっと皆さんに知ってもらって有効利用できたら良いのにと思っていたのでこれを機会に皆さんに利用してもらえると良いですね。

- ・校庭開放をすることが決定すれば、管理人の方が不在にならないようお願いしたいです。常に遊べることになれば校庭開放も、もつとにぎやかに利用されることと思います。
- ・低学年で参加させるのに学校までの往復が心配となる。しかし、一度下校せずに残られても親としては突然のことが多くなるので、それも心配になる。親への連絡が何とかできれば良いと思うのですが。
- ・同じ方向に一緒に帰宅する子どもがいなくて一人になること。
- ・ルールを守れずケガ等につながる事がないか？
- ・安全管理人さんの負担。
- ・山の手では塾に通う子どもが多いので、定着するまで人数は多く集まらないかと思いますが、シニアの方や校外校内の方々に間6のようなイベントを催していただけると、たとえ30分でも参加したいと思う子どもは多いと思います。また、私の子どもの頃は担任の先生や校長先生など先生方と遅くまで「探偵ごっこ」(警棒)をしたり、鉄棒をしたりして遊んで帰ったものです。先生方の参加も大変大きな力となるのではないのでしょうか。なかなか難しいとは思いますが…。
- ・学童保育に行っているので参加できません。
- ・せまい運動場をきちきちで使うことになるかもしれないので、ぶつかったりボールが当たったりすることが、できるだけないように運動場を分けるなどして頂けたらと思います。
- ・一人っ子なので子どもを遊ばせたくても遊ぶ友達もなかなか居ず、帰るのも3時半で、すぐに4時になってしまうため是非学校の帰りに遊んで帰ってこれる機会を作って欲しいと思います。有料になってもいいので、安全面も気をつけて頂けたらと思います。また、当番などでお手伝いできてよと思います。
- ・防犯面、安全面をしっかりと頂ければと思います。
- ・現在の方法ではとても利用しづらいと前から声をあげていました。家が遠いと(特に岩小は校区が広いため)利用不可能です。是非、そのまま遊べるようにしてください。
- ・私も岩小出身で毎日最終下校時刻まで遊んでいましたし、今のようなことはありませんでした。むずかしい時代になってしまったなと思います。どうしたら良いのか今のところ分かりません。
- ・たくさん子どもたちが利用するのは良いことだと思いますが、ケガなどの心配もあります。(目が行き届くかということで)
- ・東京都世田谷区の公立小学校はBOP制度があり、学童保育の先生が管理してくれました。親が書く、BOPカードに連絡先と帰る時間を記入し、学童保育の先生に渡し、人数等を把握していたようです。ランドセルもその部屋にまとめて置いていて、安心できました。子どもがバッジを付け、帰る時に返却しました。
- ・学年毎に何人以上で実施等、子どもの意思(思いつき)で残ることのないようにしていただきたいです。
- ・やはり一旦帰宅してからしか利用できないという点は、大きなネックになっていると思います。翠ヶ丘なので低学年ではひとりで行かせるのは不安ですし、高学年は塾通いの日もできます。塾に行くまでのわずか30分~1時間でも友達と遊べるのは、子どもにとっても嬉しいことなので、ぜひ一旦下校せずに遊べるようにしていただきたいです。その日その日の所在確認や宿題などは家庭で相談すればよいことだと思います。
- ・校庭開放日のカレンダーでは開放日となっているのに、開放されていない日があり、困りました。なるべく正確に伝えて欲しい。急になくなる場合、門にその旨書いて欲しいです。
- ・安全管理人といわれる方がどんな方か、何人くらいいて、どこにいるのかということが解らないので利用をためらう。
- ・一度帰宅してからでは時間が遅く、改めて学校へという気が起きないので、残って参加するのはありがたい。その際保護者・学校側・安全管理人との連携がとれていないと万が一のときの対処などをしっかり出来るようにと思う。
- ・地域の時間のある世代(50代~70代)に、行き帰りや校庭で一緒にやりがいを持って見守っていただけたら言うことないのですが。
- ・放課後と言っても1時間から多くて2時間の中で、何か特別なことが出来るもののでしょうか?!のびのびと遊べれば良いようにも思われます。が、その中でやはり喧嘩とか仲間ははずれと言ったことが起こることもあるようなら、是非とも

お年寄りの方との遊び、なんともおだやかな時間が持てれば良いのですが…。

- ・とにかく今は親も学校もすべて過保護すぎる。私たちの頃は曜日や連絡などナシで自分たちの学校なのだから、自由に遊べたはずだ。子どもを殺すのは簡単だ…過保護にすれば良い… 塾や宿題、習い事で今の子どもたちはヘトヘトだ！！こんな中から世の中を変えられる人物が出てくるのか…疑問だ…。
- ・一旦下校せずにとすると、「うちの子帰って来ないのですが、校庭開放に居ますか？」という問い合わせが多くよせられ、その処理が大変なのは？利用名簿による確認などを基本として応答するか、電話の問い合わせを一切受け付けないとかそこら辺が学校に負担&心労となるのでは？でも、一旦下校しない方が利用しやすくてありがたいです。(まだ4年間1度も利用したことがないので)
- ・一旦下校してからというのが、とにかく嫌です。
- ・子どもたちが安心・安全に遊ぶことの出来る校庭を開放していただき、ボランティアの方に管理していただけることは、非常に有難く感謝しております。今後下校せずに利用できるようなになれば大変利用し易く、利用する人数も大幅に増えるのではないかと思いますので、安全面でこれまでにない問題が生じることが考えられ、保護者も含めて注意を怠ることのないようご指導いただければと思います。
- ・近所の方に昔の遊びを教えてもらったり、いろいろな年齢の方とのコミュニケーションの場になれば良いと思います。ただ、校庭を開放するのではなく、イベントを開催しても良いと思います。
- ・ノウハウを有するNPO、YMCA等の団体の有効的な活用、協働
- ・下校時の防犯対策が気になります。あらかじめ決定されておれば時間を見計らって迎えに出る他の協力は可能だと思う。
- ・安全管理の方を多めに配置していただく。(現状を知らないので自分の希望を勝手に申し上げています。)
- ・帰りが心配くらいかな？遊びの中の傷は仕方がないかと思います。
- ・校庭開放は、広い場所で思いきり自由に駆け回ったりボール遊びができてりするの、とてもありがたいです。また、学校のお友達と遊べるのも、とてもよい点です。学校終了後そのまま校庭で遊ぶことができると、より長い時間遊ぶことが出来効率も良くてよいと思います。
- ・頑張ってください、応援しています。
- ・安全管理の方が、ご高齢の方が多いように思います。いざという時、なかなか対処しづらいのではと不安に思うことがあります。(不審者等が入ってきた場合)
- ・下校せずに校庭開放された方が利用はしやすくなると思いますが、学校の負担が大きくなるし安全管理の方も増やす必要があるかと思われます。
- ・問5にも記しましたが、不審者が起こす悲劇を回避すべく校門には門番が必要になるかと思っています。実施に当たっては2通りの案があり、①シルバー人材の方をお願いする(この場合全校生徒で日当を割り、負担額が数百円であること)。
②利用者の親が交代で門番をする。(年1回程度でない皆さん利用されないかも知れませんが。)
- ・帰りが難しいようなら「低学年は保護者が迎えに来ること」等の約束を決めても良いと思います。
- ・事故のあったときに目が届くような範囲で遊ぶ。
- ・世田谷区のBOPが参考になると思います。
- ・課外授業のような形でアスロンの体育を導入する。英会話などやっていただきたい。
- ・昔は逆上がり、なわとび等、できなければ放課後先生ができない子どもに教えてくれたりしてましたが、最近はやはり先生の残業等のこともあるかもしれませんが、そういう交流の場が少ないような気がします。
- ・放課後下校せずに利用できるなど管理はたいへんかと思いますが、子どもが気軽に利用できるようにご配慮願いたい。
- ・低学年の暗い帰路の安全確保が課題と思います。
- ・今まで、家から学校が遠いので一度も参加したことがないのでわからないことだらけなのですが…。子どもは20分休みや昼休みにボールをけることが禁止されているので、放課後にサッカーをやりたい(コミスク活動ではなく)と言っていたことがあります。その場合、場所の問題やサッカーと関係ない遊びをしている友達にボールが当たった場合(顔や頭など、医療費が発生する場合)、なんらかの保険に入ったほうが良いのかなと思いました。その保険は個人(各家庭)で

入ったほうが良いのか、それとも「放課後子どもプラン事業」で何かそのような保険があるのでしょうか？自分の子どものケガはよいのですが、他のお子様にケガをさせた場合、ゴタゴタが起こると難しくなるので…。

- ・子どもたちは親から「〇時に学校を必ず出るのよ。」と言われていても、遊びに夢中になるとわからなくなるもの。なので、例えば3時半、4時、4時半等 30分毎にチャイムを鳴らしてもらい、子どもが「もう〇時だ！」と気づけるような工夫をしていただければ、ありがたい。
- ・部外者の出入り。
- ・校庭開放を今まで利用したことがありませんが、他の小学生や関係のない大人が入場する可能性は十分考えられます。安全面を懸念する声が多いようであれば、当然われわれ保護者が平等に交代制での監視員を置くべきです。利用希望者数にもよりますが、希望者全員でふりあてて年に一回程度であれば負担になりません。また、皆さんお稽古などで遊べる曜日が決まっているので、それぞれ定例日として名簿リストを作っておくと子どもが〇をつけてから遊ぶと安全管理できると思います。
- ・校庭開放は、是非参加させたいのですが、学校が遠いため(20分ほど)一度帰宅して間食をしてから学校へ行くと、かなり遅い時間になり、結局遊ぶ時間より往復の徒歩の時間にとられてしまう為、1度も参加したことがありません。体力をつけるためにもそのまま校庭で遊べるスタイルで是非お願いしたいです。放課後について、ケガの問題等色々あるかと思いますが、基本的に自己責任だと思います。その管理が自分でできた上での参加という形でされると実施されやすいのではないのでしょうか？是非ともすすめていただきたい課題だと思います。
- ・校内での遊び方のルール徹底。子どもだけの無法状態になりはしないか危惧します。保健室の状況も含め。
- ・校区が広いので一度帰ってからまた学校に行くことがむずかしい子もいると思います。ただ、校区内の公園は野球やサッカーをしてはいけない公園しかありません。現状、岩小のグラウンドでは難しいかもしれませんがもっと積極的にアピールし活動していくことで体を動かせる場所の提供ができればと思います。(サッカー教室・野球教室・ドッチボール大会など)
- ・是非、放課後色々活動していただきたいと思います。そのときに、そのまま学校に残れたらと思います。
- ・地域の方のご好意による安全管理については、小学校に通わせている子どもを持つ親としては、「やっていただいている。」という立場から申し訳なく思う。在校生の親の間で持ち回りでもれなく順番にその任を行うのはいかがなものか。もれなく順番にすることで(基本的に働いている方々も…)上意下達式に担当様が仕切ってくださっても良いと思う。
- ・極端に集団下校の人数が減ると特に低学年の子どもの下校が心配です。
- ・学校が遠く、校庭開放中の安全面よりも、行き道と帰り道が心配な為、校庭開放に参加させていません。そして、学校の終わる時間も昔と違って遅い為、参加するとうか、させようという考えに無理があるように思います。校庭開放に参加していなければ「遊んでいない。」ということではないと思います。
- ・学校から家までの距離がかなりあるので、開放終了後に集団で下校するように指導していただけるのでしょうか？
- ・保護者にどう連絡するかが1つのポイントになるかと思います。(昔は好きなときに居残っていました…)有効に子どもたちが放課後を過ごせるよう、よろしくお願いいたします。
- ・低学年であると、下校そのまま校庭開放となると、自宅まで少し遠いので本人一人下校させるのがちょっと心配。
- ・一旦帰宅せずに参加できることになれば、利用者は必ず増えると思います。(我が家もぜひ参加させたいです。)
- ・ランドセル置き場など、校庭開放利用時の流れを子どもにも明確にわかるようになっていけると良いと思います。いろんな子どもと遊べるようになるので下校→校庭開放利用になると子どもにとっても嬉しいことだと思います。
- ・前は横浜に住んでいましたが、下校せずに利用できる「はまっこ」という制度がとても便利でした。帰りは時間を決めて同じ方向で帰らせたりしてくれました。校庭だけではなく、折り紙や粘土等、そのときのカリキュラムがあり色々な事を学んで帰ってきてとても楽しそうでした。用紙には判子を押ししたりして、親が了承した上での利用が望ましいと思います。
- ・一度小雪の舞い落ちる寒い日に校庭開放に参加したことがありますが、あまりの参加者の少なさに安全管理人の方が気の毒で仕方ありませんでした。(良い悪いは別として)岩小の子ども達は塾・習い事に忙しいのが現状です。問3・4で「30分~1時間なら参加したい。」と記入しましたが、きっと私の子どもも週1回参加が精一杯だと思います。理想は放課後の

ホッと一息つける時間を安全な校庭で遊ばせてやりたいですが、現実を見ると参加人数が劇的に増えるとは思えません。事業者、管理人の皆様のご負担を考えると廃止もやむを得ないかと思えます。

- ・校庭開放には行ったことがあります。これからも続けて欲しいです。
- ・実質親である私の都合上(働いているため)利用の頻度としては少ないかも知れませんが、大きな広場が少ない中集まり易く遊べる場のご提供はありがたいです。
- ・「一旦下校せず。」を検討していただき、ありがとうございます。ずっと望んでおりましたので、とても嬉しく思います。課題といたしましては暗くなってからの子どもたちだけでの下校が心配されますので、利用する保護者は責任を持って途中まででも迎えに行くように、各家庭で工夫すると良いのではないのでしょうか？
- ・校庭開放に参加しているのか、お友達の家に行っているのか、分からなくなってしまうので、参加のチェックをして頂きたいです。遊びに夢中になって忘れ物など心配です。教室に持ち物を置いたままなど、持ち物の管理もして頂きたい。
- ・今は一度帰宅するので結局遊ぶ時間が短くなり、それならと近くの狭い公園や家でゲームをしているという感じです。広々としてスペースなら出来るボールや鬼ごっこをもっとしたいと思っていても難しいようです。
- ・はじめにいつも岩小校庭開放でお世話になっております皆様にお礼申し上げます。今回このアンケートについてわが子から「校庭開放は絶対に続けてほしい」という言葉がありました。一緒に遊んでいる友人のお母様も書いてくれるかな…と気にかけているほどです。自宅が学校から近いということもあり、よく参加しております。開放の日は遠方のお友達が我が家へ下校して一緒に校庭開放に参加する…ということもしばしばです。男の子ですので思いっきり体を動かして遊べる場が必要なのですが近くの公園ではご老人や犬の散歩の方から「球技は禁止！」と言われることもありサッカー・野球をすることもはばかれるのが現状です。室内でゲーム…ではなく健全にスポーツを楽しめる校庭開放は、子ども達にとって貴重な場です。安全な環境でのびのびと遊べる機会を提供して戴いていることに親として深謝いたしております。わが子の周りでは「校庭開放行こう〜！」というムードが出来ています。子どもたちの伸びやかな成長のためにも、この輪が広がってゆくことを切に願っております。良い形で継続してゆけますよう、保護者として心より強く希望いたします。
- ・まだ1年生なので一旦下校せずに遊ばれると無事に帰宅できるかどうか心配です。
- ・家が学校から遠いためせっかくの校庭開放も利用できずこれまで残念に思っていました。そのまま遊べるようになるのは喜ばしいことですが、帰り道がひとりになったりすることは心配でもあります。
- ・帰宅せず直接遊ぶことができれば非常に助かります。校庭のような大型遊具のある公園はあまりありませんし、家から離れている友人とも遊ぶことができるからです。
- ・3年生まで学童に通わせて頂いて、4年生から、放課後学校で少し遊んで帰っているようです。仲間と遊んでいるので私があれば良いと思うような昔遊びに積極的に参加するのかわからないですが、人が自然にいるというだけで安心するのではないかと思います。
- ・基本的に校庭を開放していただければ、あとは各ご家庭の責任で遊ばせれば良いと思います。一旦学校から帰るのは大変なのでそのまま遊ばせるのは大賛成です。学校に残って遊ぶことを親が把握したいということであれば、チケット制等考えられたらいかがでしょうか。日付け、親のサインがある紙を持っていればそのまま校庭で遊べるとしたらどうでしょう。(1つの案です。基本的には何もなしで遊び、帰らなければいけない時間に勝手に帰るといったのがいいです。親との約束の時間に帰ってこなければ、親が学校に迎えに行けばいいと思うので。
- ・名前の記入等、当番で居てくださる方がたいへんすぎると思います。
- ・公園の代替としか理解していない為、珍回答でしたらすみません。
 - ボランティアの方やサポートしてくださる方の確保。
 - 子どもたちが行きたくなるような校庭開放でのイベント。
 - 室内・室外での場所の確保。
- ・校区の広い岩小において、一度帰ってから…という現在のルールでは「利用するな。」と言っているのと同じです。もっとも子どもたちのことを考え、子どもたちのための内容に変更してください。そんなに難しいことではないはずです。

- ・このご時世、色々な事件が起きている中での実施は大変だと思います。だからと言って、家の中で遊ぶ子どもの姿はやはりゲームなどになり体力も昔に比べると落ちていると言われてるので、実施して頂けたらありがたいと思います。ある程度の覚悟も必要だと思います。見守る方を人材シルバーの方ではダメなのでしょうか？地域では少し無理があると思います。
- ・公園に行っても遊ぶ子どもたちがいないと言って、がっかりして帰ってくることが多いです。いったん帰らずに残れることで、友達が増えることを願います。しかし、最近の子どもたちは家の中でTVゲームか、それ以外は塾通いが多く、外で遊ぶことが少ないのかもしれない。小学生の間は積極的に外で遊ばせたいと思います。

アンケート実施平成23年11月

校庭開放を帰らずに実施するか否かについての各小学校の対応について

(平成24年10月17日)

小学校	放課後子どもプラン (校庭開放事業)	内容
精道	現状のまま。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年7月19日連絡。 ・開始時間等は現状のままとするが、まずは校庭開放日を増やす方向で取り組む。
宮川	現状のまま。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年7月17日連絡。 ・13日の話し合いの結果(学校ごとに個別対応となった旨)を報告。 ・現状のままで行くことを確認。
山手	現状のまま	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年8月6日に訪問。 ・帰らずに実施した学校の状況を見てから、慎重に判断していきたいので、現時点では現状のままで行くことを確認。
岩園	帰らずに実施する方向 で協議を行っていく	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年8月2日に訪問。 ・課題解決に向けて今後も協議を重ねていき、平成25年度開始にむけて取り組んで行く。
朝日ヶ丘	帰らずに実施する方向 で協議を行っていく	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年9月14日に訪問。 ・課題解決に向けて今後も協議を重ねていき、平成25年度開始にむけて取り組んで行く。
潮見	現状のまま。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年7月19日連絡。現状のままで行くことを確認。
打出浜	現状のまま。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年7月26日訪問し、現状のままで行くことを確認。
浜風	現状のまま。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年7月18日連絡。現状のままで行くことを確認。

校庭開放事業の一旦下校解消に向けての課題と対策(岩園小学校及び朝日ヶ丘小学校の取組み案)

平成24年10月17日

課題項目	対策	取組み内容																																																												
15:00から15:30までの対応	待機場所の確保	岩園小学校→仮設校舎1階階段付近 朝日ヶ丘小学校→ピロティ下の階段付近																																																												
安全管理人の確保	安全管理人の確保(2名体制)に向けて取り組む)	①安全管理人に呼びかけ ②保護者(PTA)に呼びかけ ③コミスク関係者に呼びかけ ④大学に呼びかけで学生ボランティアの募る																																																												
帰宅しないことへの保護者からの問い合わせ	校庭開放事業の参加にかかる問い合わせ先は、生涯学習課であることを周知させる。	<p>①校庭開放事業に参加しているのかしていないのか等の問い合わせ先は、生涯学習課であることを保護者に周知させるための方法として、家庭で保管してもらいやすいように、問い合わせ先等を記載したラミネートカード(紙磁石つき)を配布する。 問合せ先を記入した配布用のラミネートの図案</p> <div data-bbox="710 784 1149 1041" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>校庭開放 放課後子どもプラン問合せ 芦屋市教育委員会 生涯学習課 TEL:0797-38-2091(直通) FAX:0797-38-2072 問合せ時間帯:9:00~17:30 (土・日・祝祭日は除く) <家庭保管用></p> </div> <p>②保護者からの問い合わせに対応できるように、校庭開放の終了時間を17時に変更する。 ③安全管理人に配布した携帯電話を利用し、学校からも安全管理人に連絡できるようにする。</p>																																																												
参加児童の把握	<p>①参加者名簿の記入を徹底させる。 ②帰宅する場合は、参加者名簿に帰宅時間を記入させる。</p> <p>学期の初めに児童に参加カードを配布し、参加する場合は参加カードに、保護者の印を求めるようにする。 (保護者印が無いときは、参加できないこととする)</p>	<p>①子ども達が参加者名簿に氏名や帰宅時間等を必ず記入するよう、安全管理人に徹底させる。 ②学校の先生からも参加者名簿に記入することの重要性について子ども達に伝えていただくように依頼する。 ③家庭でも参加者名簿に記入することの意味を子ども達に伝えるように保護者に周知する。</p> <p>①参加カード</p> <div data-bbox="853 1500 1372 1556" style="text-align: center;"> <p>放課後子どもプラン 校庭開放事業 参加カード</p> </div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="10">小学校 年 組 氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>/</td><td>/</td><td>/</td><td>/</td><td>/</td><td>/</td><td>/</td><td>/</td><td>/</td><td>/</td><td>/</td><td>/</td> </tr> <tr> <td>印</td><td>印</td><td>印</td><td>印</td><td>印</td><td>印</td><td>印</td><td>印</td><td>印</td><td>印</td><td>印</td><td>印</td> </tr> <tr> <td>/</td><td>/</td><td>/</td><td>/</td><td>/</td><td>/</td><td>/</td><td>/</td><td>/</td><td>/</td><td>/</td><td>/</td> </tr> <tr> <td>印</td><td>印</td><td>印</td><td>印</td><td>印</td><td>印</td><td>印</td><td>印</td><td>印</td><td>印</td><td>印</td><td>印</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 集団下校や見守りボランティアはありませんので、下校時の安全面等に不安を感じる場合は、保護者が児童を迎えに行くなどの対応をとっていただきますようお願いいたします。 <問合せ先> 芦屋市教育委員会 生涯学習課 電話:0797-38-2091(直通) 時間帯:9:00~17:30(土・日・祝祭日は除く)</p> <p>②年度当初に参加カードを配布し、校庭開放参加の場合は、安全管理人が参加カードの年月日と保護者印を確認をし、参加カードを児童から預かる。児童が帰る時は、安全管理人は児童に参加カードを返却する。</p>			小学校 年 組 氏名										/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印
		小学校 年 組 氏名																																																												
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/																																																			
印	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印																																																			
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/																																																			
印	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印																																																			

課題項目	対策	取組み内容
下校時の安全対策	下校時の安全面については保護者の理解を求めていく。	①保護者が下校の安全面に不安を感じる場合は、保護者が子どもを迎えに行くなどの対応をしてもらうように、PTAの会議等で周知を図る。また参加カードにも大きくその旨を記載する。 ②地域の見守り団体等にも校庭開放事業のことを知ってもらい、見守りを促す。
ケガ等の対応	①擦り傷、鼻血など	原則、安全管理人が対応(校庭開放用に応急措置救急用具を配布)
	②大きなけが(骨折など)	・救急車を呼ぶ緊急性がある場合か、それとも救急車まで呼ぶ緊急性は感じないが児童の保護者に迎えに来てもらうなどの対応が必要な場合であるかの判断を、安全管理人だけで行うのは難しいと思われるので、学校と相談しながら行う。 ①救急車を呼ぶ緊急性がある場合 1. 緊急性を要することから学校に救急車手配等の協力をお願いする。 2. 安全管理人は、速やかに生涯学習課に状況を知らせる。(専用の携帯電話を使用する) 3. 生涯学習課も至急病院等へ駆けつける。 ②救急車まで呼ぶ緊急性は感じないが児童の保護者に迎えに来てもらうなどの対応が必要な場合 1. 安全管理人は速やかに生涯学習課へ状況を知らせる。(専用の携帯電話を使用する) 2. 生涯学習課は、怪我をした児童の保護者に連絡を取り、状況を説明し迎えに来てもらうように連絡する。 3. 生涯学習課も、至急学校へ向かう。 4. ケガをした児童の保護者が迎えにくるまで児童に付き添う。
学校への負担が増えることへの懸念	集団下校する児童と下校せずに遊ぶ児童の判別については、参加カードを首から掛けるなど判別しやすいようにする。	集団下校する児童と下校せずに遊ぶ児童の判別がしやすいように、参加カードを首からかけ、判別しやすいようにする。
傷害保険	生涯学習課で傷害保険に加入	生涯学習課で傷害保険に毎年加入(下校時にも適用) (内容)死亡100万円 入院1,500円/日 通院1,000円/日 (参考)保険適用件数 平成23年度は5件 平成22年度は3件
その他	雨天時の中止決定について	①13:00時点の天候状況により判断し、教頭先生に連絡。 ②児童への中止の連絡等は、終わりの会での周知や看板などで知らせる。
	安全管理人の意識改善	応急手当研修会等を毎年開催し、業務についての説明も行う。 (今年度は9月20日に実施)
	ランドセル等の荷物の置き場所の確保	岩園小学校→仮設校舎1階階段付近 朝日ヶ丘小学校→ピロティ下の階段付近
	忘れ物かごの設置	岩園小学校→玄関右のロッカー上部 朝日ヶ丘小学校→保健室前棚の上部
	教職員団体との話し合い	・事故等の対応などについては学校の協力が必要となることから、教職員団体とも話し合いの場を持ち理解を得られるよう取り組んでいる。

平成24年度校庭開放安全管理人研修会及び説明会まとめ

日 時	平成24年9月20日(木) 10:00~12:00
場 所	消防庁舎 3階 多目的ホール
出席者	<p><研修会 10:00から10:45> 講師：市立芦屋病院 小児科主任医長 安部 信吾 校庭開放安全管理人：出席者一覧表のとおり 事務局：生涯学習課長 長岡 一美 生涯学習課主査 細山 由美 生涯学習課 春名 片史</p> <p><説明会 10:55から12:00> 校庭開放安全管理人：出席者一覧表のとおり 事務局：生涯学習課長 長岡 一美 生涯学習課主査 細山 由美 生涯学習課 春名 片史</p>

研修会

講師：市立芦屋病院 小児科主任医長 安部信吾

テーマ：「頭を打ったときの対処方法」について（別紙資料のとおり）

（質問事項）

- ・目にものが当たった時の対処方法
- ・つき指の対処方法
- ・擦り傷等の対処方法 など

説明会

1. 開会（生涯学習課長あいさつ）
2. 自己紹介
3. 説明会（安全管理人の業務について及び新たな取組みについて）
4. 意見交換
5. 閉会

説明会の要旨

<安全管理人からの意見>

1. 安全管理人の業務について
 - ①参加者名簿への記入については、児童一人ひとりに声を掛けるのは難しいので、保護者や学校からも子ども達に周知するようにしてほしい。
 - ②終了時間が来ても帰らない児童がいるので、学校でチャイムを鳴らしてほしい。
 - ③ケガをした児童の対応については、今後も養護教員に相談していきたい。
2. 校庭開放事業の新たな取組みについて
 - ①緊急用の携帯電話の配布については了承。
 - ②ケガ等の緊急時の対応について、生涯学習課への速やかな連絡は行うが、救急

車に同乗したり、病院への付き添いなどはできない。

③病院への付き添いが無理なので、タクシーチケットの配布も必要ない。

④子ども達が下校する際に途中まで付き添うという部分についても、多方面に散らばって帰る状況から、校門までの見送りはできるが途中までの付き添いはできない。

3. その他

①学校と安全管理人との意見交換会の機会を作ってほしい。

<事務局検討事項>

①参加者名簿への記入について

→参加者名簿記入の意味合いとしては、傷害保険適用の関係や災害時の児童の把握のためなど意味合いがあり大変重要なものであることから、保護者にもチラシ等に大きく記載し、周知に取り組む。また、生涯学習課から学校へその重要性についてもお伝えし、担任の先生からも児童に周知いただくようお願いしていく。

②終了時間にチャイムを鳴らすことについて

→システム変更等が必要になる関係で学校に依頼するのは難しい。

③ケガの対処など学校への協力依頼について

→学校現場への負担にならないように、原則は安全管理人で対応していただくように説明。ただし、学校側も協力体制はとってくれているので相談等は今後でもできると思うが、学校の協力を前提とするのではなく、まずは安全管理人で対応するように指導。

④救急車の乗車や病院等への付き添いについて

→事故等の緊急時については、生涯学習課への連絡は行うが、それ以降はすべて生涯学習課で対応してほしいという意見が多数あった。安全管理人に事故等の責任を任せるというものではなく、あくまでも緊急性を要するため生涯学習課が病院等へ行くまでの応急措置的な対策として考えていたが、理解を求めることはできなかったため、安全管理人においては、事故等の緊急時における生涯学習課への速やかな連絡を行うことまでにとどめ、その後の対応については今後の検討課題とする。

⑤子ども達が下校する際、途中まで付き添うことについて

→自転車で学校に来ている子どもが多いことや、多方面に散らばって帰る状況から、途中までの付き添いはできないという意見が多数あったため途中までの見送りはなしとする。

⑥学校と安全管理人との意見交換会について

→平成22年度から、研修会及び意見交換会の実施を始めているが、今後は学校との意見交換会も視野に入れて取り組んでいきたい。


以上

平成24年度校庭開放安全管理人
研修会及び説明会の出席表

日 時	平成24年9月20日(木)
	10:00~12:00
場 所	消防庁舎 多目的ホール


学 校	氏 名
精 道	千葉 孝子
	大塚 進康
	田川喜久子
	山村 健允
宮 川	井川 等
	大内 一輝
山 手	成田 直美
	米山登喜子
	入江 祝栄
岩 園	西本 恵
	川村美知子
朝日ヶ丘	野島 清次
潮 見	澤田 實
	石川 文男
打 出 浜	祖母井和夫
	左近司節郎
浜 風	高井 知子
	合計 17名

市立戸屋病院 小児科
安部信吾



学校でのケガ

第1位 運動場・校庭
第2位 体育・遊戯施設
第3位 プール



校舎外でのけがの約90%
運動場・校庭がとても多い

日本スポーツ復興センター調べ

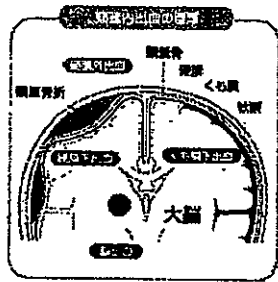
学校でのケガ

運動場・校庭	鬼ごっこをしていて友達とぶつかってしまい、前に倒れた。唇や前歯を地面で打ち負傷した。
体育・遊戯施設	滑り台を下から駆けあがっていて、足を滑らせ、頭を強く打った。
プール	水泳の練習中、前を泳いでいた人の足が、顔にあたった。

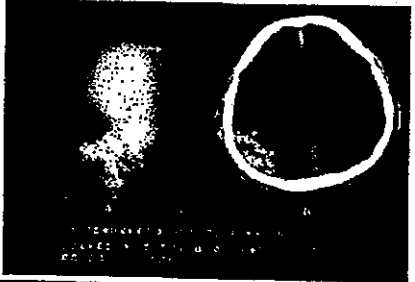
顔を含む頭部のケガが多い

日本スポーツ復興センター調べ


頭部外傷



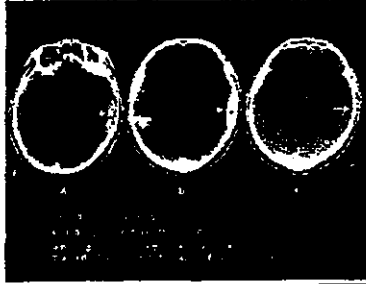
頭部外傷：骨折・頭蓋内出血



頭蓋内出血（重症例）



頭蓋内出血の時間による変化



CTをとる？とらない？

- ◆欠点=被曝
- ◆頭部CT1回 (5~30mSv)
- ◆胸部レントゲン1回 (0.06mSv)
- 頭のCT1回=レントゲン約100回相当

- ◆利点: 頭蓋内病変を見逃さない

CTをとる？とらない？

CTを採る

- ◆GCS 15点未満
- ◆瞳孔異常
- ◆眼底出血
- ◆頭部X線異常
- ◆頭部MRI異常

CTを採らない

- ◆GCS 15点満点
- ◆瞳孔正常
- ◆眼底正常
- ◆頭部X線正常
- ◆頭部MRI正常

CTは採るべきでない

意識の状態

Glasgow
Coma
Scale

15点満点。
→14点以下は
「意識障害」

大分類	小分類	スコア
E. 開眼	4.自発的	4
	3.言葉による	3
	2.痛み刺激による	2
	1.なし	1
	6.命令に従う	6
M. 運動反応	5.はらいのける	5
	4.逃避的屈伸	4
	3.異常な屈伸	3
	2.伸展する	2
	1.なし	1
V. 言語性反応	5.無意味あり	5
	4.錯乱状態	4
	3.不適合	3
	2.理解できない	2
	1.なし	1

高エネルギー外傷とは

- ◆どのようにけがをしたのか？
- ◆頭部に5cm以上のおざや腫れ・裂傷がある
- ◆危険なメカニズムによる外傷
- ◆3m以上の高さからの転落
- ◆徒歩・自転車・自動車で速いスピードでの衝突
- ◆速いスピードの投射物(投石等)による受傷

ケガをした後の症状

- ◆けいれん
- ◆5分以上の意識消失
- ◆傾眠(ぼ~としてすぐに眠り込んでしまう)
- ◆3回以上の嘔吐
- ◆頭痛がとんとんひどくなる

どれもあてはまらなくても

48時間は様子を見る必要があります。

(ゆっくりと頭の中に出血する場合あり)

まとめ

1. 意識障害がある
(ケガの直後に泣いている場合はまず大丈夫)
2. 高エネルギーが加わったか
3. 症状の変化があるか
(強まる頭痛・嘔吐・けいれん・意識障害)

いずれかに当てはまる場合は病院へ！